

第七十四回
帝國議會
貴族院

森林法中改正法律案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十四年三月八日(水曜日)午前十時六分開會

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 是ヨリ開會

ヲ致シマス、本日大藏大臣御出席ノ筈デゴザイマシタガ、豫算或ハ其ノ他ノコトニ關係シテ、ドウシテモオ外シニナルコトガ出來ナイ、大藏次官ガ御出席ニナリマシタガ、是亦非常ニ御忙シイコトデアリマスカラ、大藏省所管ニ關係スル御質問ガオアリニナリマスカラバ、此ノ際纏メテ御願ヒシタイト思ヒマス

○公爵一條實老君 大藏當局ガ御見エニナ

リマシタノデ、聊カ此ノ前ノ質疑ト重複ヲ致シマス點ガアルカモ知レマセヌガ、ドウゾ農林當局ト大藏當局トニ併セテ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマスカ、今回政府ガ森林法中改正法律案外一件ヲ御提案ニナリマシテ、其ノ目的トスル所ハ森林資源ノ培養、木材供給ノ確保、森林生産ノ保護、更ニ治山ノ基礎ヲ固クスル等ノ御考ヲ持ッテ居ラレコトハ、誠ニ我々モ結構ナコトト存ズルノデアリマス、然ルニ一方ニ於テ國家ガ國民ニ租稅ヲ課セラル、コトニ於テ、特ニ山林ノ大キナモノヲ所有シテ居ル所有

者ノ相續稅ニ對シテ、既ニ當局ガ十分御承知デアル昭和ノ何年カノ、大キナ山持ガ相續稅ニ依ッテ破綻ヲ來シタコト云フヤウナ事實ヲ、私モ蔭ナガラ伺ッテ居リマシテ、サウ云フ大キナ山持ガアルト云フコトハ國家ノ爲ニハ慶賀スベキコトデアリ、又サウ云フ人ニ依ッテ今ノ森林法中ノ改正ノ御趣意モ達セラレト思フノニ、サウ云フモノヲ一方ニ稅ヲ取り立テルト云フ方ノ見地カラ壞ハシテシマウ、サウ云フコトニナルト、折角森林中ノ改正法律案ヲ茲ニ我々ガ認メマシタ所デ、結果ハドンナコトニナルカ、矢張り稅ヲ拂フ爲ニ何ト云ッテモ過伐スルヤウニナル、ソレハ一方ニ於テ施業案トカ云フヤウナモノデ縛ラレル、ソレデハ到底目的ガ達セラレナイノデヤナカラウカト考ヘテ居リマス、ソコデ先般モ農林當局ニ御伺ヒシテ、ドウカサウ云フ特殊ノ相續ノヤウナ場合ハ、特ニ農林當局カラ大藏當局ニ十分ニオ掛合ナサツテ、サウシテ左様ナ不自然ナ結果ノ起ラナイヤウニ爲サツタラドウデゴザイマスカト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、他ノ委員方カラモ私ト同ジヤウナ御意見デ、御質疑ガアッタト思フノデアリ

マスガ、全般的ナ徵稅ノコトニ付テ私ガ此處デ彼此レ言フノデハアリマセヌ、山林ノ如ク特殊ノ相續財產ニ對シテハ、而モ其ノ人ガ大キナ財產ヲ別ニ持タナイヤウナ實際ノ狀況ガアツタ場合ニ、特殊ノ所謂物納ト云フヤウナコトヲ一ツ御認メ願フ、斯ウ云フコトニ御考ヲ願フ譯ニハ參リマスマイカ、其ノ點モ一ツ大藏當局カラ御考ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

○政府委員(松村光三君) 只今御質疑ノ問

題デゴザイマスカ、仰セノ如ク山林所有者ガ相續稅ノ納付ニ付キマシテハ同情スベキ點モ少クナイノデアリマス、急ニ不幸ニ遭ッテ山林ヲ伐採シナケレバナラス、伐採スレバ足許ヲ見ラレルト云フノデ、誠ニ其ノ點ハ同情スベキ點ガアリマス、勿論相續稅モ分納ノ方法ハアリマス、一定ノ期間ニ分ケテ納メルノデアリマスカラ、一遍ニ伐採シナクテモ分納ノ方法ガアルノデアリマスケレドモ、ソレデ或期間内ニ山林ヲ伐採シナケレバナラスト云フ事柄ヲ生ジマス爲ニ、誠ニ其ノ點ハ同情シナケレバナラスノデアリマスカ、サリナガラ之ヲ直チニ物納ヲ認メルカ、否カト云フコトニ付キマスルト、

此ノ物納ノ問題ハ山林業者ノミナラズ各方面カラ要望セラレテ居リマスル稅制上ニ於キマスル所ノ一ツノ大キナ問題ナノデアリマス、山林業者ハ勿論其ノ問題ガ大キイノデアリマスカ、其ノ他ノ方面ニ於キマシテハ、物納ノ問題ハ可ナリヤカマシク主張サレテ居ル問題デアリマスカラ、假ニ山林ノ物納ヲ認メマスルト、他ノ方面ニモ矢張り同ジヤウナ環境、境遇ヲ生ジ、左様ナ場合ノ物納ヲ認メナケレバナラスト云フ問題ヲ生ジマスノデ、物納ノ問題ハ出來ルナラバ之ヲ認メタイモノデアリマスケレドモ、其ノ影響スル所ガ少クナイノデ、山林業者ノミ物納ヲ認メルト云フコトニ付キマシテハ、甚ダ困難ナ事情モアリマスノデ、尙此ノ點ハ十分調査ヲ進メ、研究考慮シタ上デナイト、ドウモ物納ガ果シテ爲シ得ルカドウカハ困難ガアリマス問題デアリマスケレドモ、只今ノ所デハドウモ物納ヲ直チニ認メルト云フコトハ、チヨット困難ナ事情ノアルコトハ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス、ソコデ問題ハ相續稅ノ場合ニ於テ、直チニ物納ノ問題ガ困難デアラナラバドウスルカト云フ問題、要ハ山林擔保ノ金融問題ニ歸

著スルノデアルト、斯ウ思フノデアリマス、
處ガ山林金融ニ對シテ今日勸銀、農工銀行、
北海道拓殖ナドデモ、又普通ノ地方銀行ナ
ドハ山林金融ヲヤツテ居リマスケレドモ、
率直ニ申上ガマスナラバ、ドウモ是等ノ銀
行ノ山林金融ハ十分デナイト云フコトモ亦
事實デゴザイマス、第七十議會ノ時カラ森
林火災ノ保險國營ノ法モ實施サレテ居リマ
スノデ、昭和十一年十二月カラ實施サレ
コトニナツテ居リマスノデ、森林金融ニモ多
少之ガ效果ヲ舉ゲルヤウナコトニナリハシ
ナイカト考ヘテ居リマス、又今後ハ不動産
銀行ヲシテ是等森林方面ノコトニ尙一段ノ
努力ヲ拂フヤウニ、大藏省トシテ懲瀆致シ
テ居ルノデアリマスケレドモ、是等現存ノ
金融機關以外ニ、又外ノ現存金融機關ヲシ
テ森林金融ヲ一層徹底的ニ、效果的ニセシ
ムル考案モ必要デアラウト考ヘテ居リマス、
是等ノ問題ニ付キマシテハ森林國策ノ大綱
カラ考ヘマシテ、尙十分考慮セナケレバナ
ラス問題トハ考ヘテ居リマス、直チニ之ガ
實行ノ舉ニ移スト云フコトヲ御答ヘ申上ダ
兼ネマスガ、成ルベク速カナル機會ニ於キ
マシテ、森林金融ノ根本問題ニ付キマシテ
調査シ、何等カノ一ツ善處ヲ致シタイ、斯ウ
考ヘテ居リマス、マダ現在各種ノ調査ヲ考

慮中デアリマスコトヲ御含ミ願ヒタイノデ
アリマス
○公爵一條實孝君 ドウモ大藏當局ノ御答
トシテ私ハ満足出來ナイノデアリマス、成
ル程後段ニ於テ金融ニ付テノコトヲ考ヘル
ト云フ結構ヲ御考ハ有難イノデアリマス
ケレドモ、前段ニ於テ山林所有者ノ相續ハ誠
ニ同情スベキコトデアアルノデ、唯同情ダケ
ヲ御持チニナツテ、其ノ儘ヤリ放サレルト
云フコトハ、是ハ私ハ一體政府ノ御考トシ
テ左様ナコトデ宜シイノカ、殊ニ今副大臣
トシテ御答デアリマスカラ、私ハ 陛下ノ大
臣ノ御答ダト私ハ拜承スルノデアリマス、
ソナナ所ニ一體私ハ政府ノ御考ハアルベキ
モノデナカラウト思フ、ソレデアアルカラ私
ハ此ノ問題ハ失禮ナガラ局長、山林局長、
主計局長ト渡リ合フテモ仕方ガナイ、兩大臣
或場合ニ依ツテハ總理大臣ノ御考ヲ伺ッテ見
ナケレバ分ラナイ、折角今總理大臣ハ總親
私ダトカ、或ハ國民精神ヲ興ダトカ、色々
多年ノ蘊蓄ヲ現サレテ居ラレノデアリマ
スルガ、其ノ一ツノ現レトシテ此ノ森林法
中ノ改正ガ出テ、一方ニ於テ山林ヲ立派ニ
國家百年千年ノ永キニ互ツテ經營サシテ行
ク、即チ國民ヲシテ愛林ノ思想ト云フモノ
ヲ茲ニ涵養サセナケレバ、山ヲ有ッテ居ッ

ラ自分ノ子孫ガモウ破綻ラスルノデ、斯ウ
云フ風ニナツタラ誰ガ施業案ナシゾヤリマ
セウカ、矢張り値段ノ好イ中ニ伐採デモド
ンドントシテ、罷り間違ッテ刑罰ニ觸レタ
ラ、監獄ニ甘シジテ行クヤウナ風ニ、人間
ガヤケニナリハシマセスカ、私ハ山林ノ物
納ヲ許ス場合ニハ、其ノ他ノ物納モ澤山ア
ルカラ、ソレハドウモ金錢ヲ收納スル大藏
省トシテハ困ル、ソレハ私ハ御困リニナル
ト思ヒマス、併シ國家ガ人ノ不幸ニツケ入
ッテ相續稅ヲ取ル、相續稅ヲ取ル主義ノ可否
ハ姑ク別問題ニ致シマシテモ、在ル物ノ中
カラ御取リニナル、假ニ百萬圓ナラ百萬圓
親ガ財産ヲ子供ニ遺シタラ、其ノ中カラ二
十五萬圓ナラ二十五萬圓、二十萬圓ナラ二
十萬圓稅ヲ取ルノハ分リ切ッタ話デ、残り
ガ七十萬圓乃至八十萬圓アルノデアリマス
ケレドモ、無イモノヲ取ル、而モ奈良縣ノ
某君ノ例ナドラ見ルト、全ク稅ノ爲ニ家ガ
没落シテシマッタ、是ハチヤント當局ガ明々
白々ノ事實トシテ御覽ニナツテ居ル、私ハ其
ノ人ト決シテ親戚デモ知己デモアリマセ
ヌガ、サウ云フ風ナコトヲ國家ハナサツテ、
サウシテ一方ニ國民精神ノ作興ナント云フ
コトハ、言フベクシテ行ハレルベキモノ
デハナカラウト思フ、私ハ山林ノ物納ヲ許

スナラ、他ノ方ニモサウ云フコトガアツテ、
非常ニ統制上困ルト云フ、私ハ山林ヲ持ッ
テ居ル者ニ必ズシモ全部ニ物納ヲ認メロト、
ソナナ極端ナコトヲ申スノデアアリマセヌ、
山林ダケヲ財産トシテ持ッテ居ル者ノ稅ヲ七
年ヲ十年ニ延シタラ、ソレデ以テ納稅ハ出來
ルダラウト、アツサリシタ御考デ居ラレヤ
ウデスガ、私ハ實情ニ即シテヤラナケレバ何
ニモナラヌデヤナイカト思フ、私ハ非常ニ
今惧レテ居ルノハ、或ハ國民ガヤケニナル
ト云フコトデ、私ハサウ云フ風ナ方面ニ政
府ガモット深イ御考慮ヲ願ッタナラバ、山林
所有者ノ如キモノデ、而モ納稅ヲスルコト
ガ出來ナイヤウナモノニ對シテ、特別ナル
取扱ヲ爲スコトヲ得ト云フヤウナ、稀ナ「ケ
ース」カモ知レマセヌガ、併シ稀ナ「ケー
ース」ニ對シテハ、ソレダケオ上ノ御慈悲ガ
アルノダト、私ハ副大臣ノ御答辯トシテサ
ウ云フ風ニ御答ヘ願ヒタイ、殊ニ我々ト違ッ
テ御苦勞ヲ十分御承知ノ副大臣ノ御話デア
ルノデスカラ、私ハモット碎ケタ、事務官的
ナ御答辯デナシニ、碎ケタ御話ヲ願ヒタイ
ト思フノデアリマス、失禮ナガラ今ノ大藏
大臣ハズット官僚デ御育チニナツタ、ソコヲ
御助ケニナルノガ、民間カラ出タ、衆議院
ニ長ク居ッタ副大臣ノ御務デヤナイカト思

ラ自分ノ子孫ガモウ破綻ラスルノデ、斯ウ
云フ風ニナツタラ誰ガ施業案ナシゾヤリマ
セウカ、矢張り値段ノ好イ中ニ伐採デモド
ンドントシテ、罷り間違ッテ刑罰ニ觸レタ
ラ、監獄ニ甘シジテ行クヤウナ風ニ、人間
ガヤケニナリハシマセスカ、私ハ山林ノ物
納ヲ許ス場合ニハ、其ノ他ノ物納モ澤山ア
ルカラ、ソレハドウモ金錢ヲ收納スル大藏
省トシテハ困ル、ソレハ私ハ御困リニナル
ト思ヒマス、併シ國家ガ人ノ不幸ニツケ入
ッテ相續稅ヲ取ル、相續稅ヲ取ル主義ノ可否
ハ姑ク別問題ニ致シマシテモ、在ル物ノ中
カラ御取リニナル、假ニ百萬圓ナラ百萬圓
親ガ財産ヲ子供ニ遺シタラ、其ノ中カラ二
十五萬圓ナラ二十五萬圓、二十萬圓ナラ二
十萬圓稅ヲ取ルノハ分リ切ッタ話デ、残り
ガ七十萬圓乃至八十萬圓アルノデアリマス
ケレドモ、無イモノヲ取ル、而モ奈良縣ノ
某君ノ例ナドラ見ルト、全ク稅ノ爲ニ家ガ
没落シテシマッタ、是ハチヤント當局ガ明々
白々ノ事實トシテ御覽ニナツテ居ル、私ハ其
ノ人ト決シテ親戚デモ知己デモアリマセ
ヌガ、サウ云フ風ナコトヲ國家ハナサツテ、
サウシテ一方ニ國民精神ノ作興ナント云フ
コトハ、言フベクシテ行ハレルベキモノ
デハナカラウト思フ、私ハ山林ノ物納ヲ許

フ、私ハ農林大臣ガ立派ナ酸イモ甘イモ嚙ミ分ケタ、アノ説明振リヲ聴イテ感心シテ居ルノデアリマス、ソレト同ジヤウニ大藏省ニモ副役ノ立派ナ方ガアラレルノダカラ、其ノ御方カラ一ツ私ハ所謂官僚一點張りノ、人民ハ迷惑シタツテ構ハヌ、年ニ凡ソ何千萬圓ノ相續税ノ豫算ヲ取ツテ居ルカラ、ソレダケハ糾ギ取ルンダト云フコトヲ、ソシナコトヲナサツタナラバ私ハ總親和ナドハ出來ヨウトハ思ハナイノデアリマス、ソコヲ一ツ大乗的ノ見地カラ、私ハ一ツ政務次官ニ希望ヲ述ベタイト思フ、何卒一ツ御困難ナ状態ハアルダラウト思ヒマスケレドモ、ソコイラヲ私ハ改メテ戴イテ、ソレモ山林ノ物納ト云フカラ、其ノ他ノ市内ノ土地ニモ及ストカ、ドウノ斯ウノト、サウ云フコトヲ私ハ今要求シテ居ルノデアリマセヌ、實情已ムヲ得ナイモノニ對シテハ、サウ云フモノノ物納ヲ許スコトヲ得ト云フヤウナ、私ハ人情ノ御政治ガ願ヒタイト云フコトニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、重ネテ御答辯ヲ要求スル必要ハアリマセヌケレドモ、私ハドウゾ御願ヲ申上ゲル所ヲ、能ク御諒承願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(松村光三君) 重ネテノ御質疑デゴザイマシテ恐縮デゴザイマス、先程申

上デマシタ通りニ、山林ハ特ニ面倒ナ環境ニアリマスルカラ、萬承知ヲ致シテ居リマス、唯不動産ノヤウナモノモ、矢張り都會地ノ不動産ナドハマア相續税ノ時ニ、是トテモ足許ヲ見ラレマスケレドモ、處ガ地方ノ不動産ナドハ、扱テ相續ニ依ッテ納税シナケレバナラス、其ノ不動産ヲ處分シヨウトシテモナカ、ムツカシイコトニナリマシノデ、山林ト同様、場合ニ依リマシテハ山林ノ方ハ少シ足許ヲ見ラレマシテモ、市場價格ガ多少アリマス、尤モ市場價格ト申シマシテモ、立木ノ儘デヤリマス、矢張り足許ヲ見ラレヌ倒サレマスケレドモ、地方ナドハ相續税ヲ納メマス時ニ、施業地ノ不動産ナドハ隨分同情の場合ガアルノデス、尤モ不動産ノ方ハ山林ヨリ金融ガ著キ易イノデスガ、ソレデモ相續税ノ問題ガアル、ソレデ餘計ナコトニナリマスガ、相續税ノ問題ハ山林、不動産ト云フヤウナ斯ウ云フ現状カラ云フト、ドウシテモ相續税ノ場合ハ何等カ平常ニ於テ特殊ノ工作、特殊ノ工作ト申シテモ色々アリマセウガ、ドウモヤツテ置クノデナイト、突發事項デ、相續税ト云フ事件ガ勃發シタ時ニ、實際ニ税ノ納付ガ困難デアル、當然物納ヲ考ヘナケレバナラス問題デス、是モ併シ私モ御尤モダト思

フコトガアリマス、尙能ク協議致シタイト思ヒマス、又物納デ之ヲヤリマスルト、山林ノ物納デスト、林野局其ノ他デ併セテソレヲ處分スルノデスカラ、不動産ノ競賣ヨリモモットヤリ易イ點モアリマス、不動産ノ競賣ハナカ、地方ナドデハ、市場價值ガ殆ドナイ場合ガアリマス、其ノ點ハ幾ラカヤリ易イト思ヒマスケレドモ、只今申シマシタヤウニ物納ヲ認メルト云フト、不動産モヤツテ來イ、何モヤツテ來イト云フコトニナレバ、ソレモ國家カラ見マスルナラバ、場合ニ依ッテハ唯各國ノ實情ナドニ依リマシテモ、物納ト云フ問題ハナカ、面倒ナ問題ガ伴フノデスカラ、之ヲ實施シマス場合ニハ、餘程物納ノ實施ノ場合ニハ細則ト申シマスルカ、能ク研究シテヤリマセスト、假ニ原則ハ良クテモ實行ガ餘程困難ガ伴ヒマスノデ、御説ノヤウナコトガアリマスシ、山林、不動産併セテ、外ノモノモアリマスガ、殊ニ田舎ノ方デハ能ク税金ガ高イ、穀物ガ下ツタト、今賣レト云ツタツテ足許ヲ見ラレルカラ、取敢ズ農産物デ取ツテ呉レト云フ、隨分物納ガ出テ來テ居リマス、ソレハ事情ガ違ヒマスケレドモ、彼ヤ此ヤヲ思ヒ合セマシテ、物納ト云フ問題ハ單ニ課税技術ト云フ問題デナク、事實ハ十分

考慮シナケレバナラス點ガアルト思ヒマスノデ、十分考究ヲ進メマシテ善處致シタイト思ヒマスガ、繰返シテ申上ゲマスガ、非常ニ困難ナ事情ガアルト云フコトヲ、重ネテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小林嘉平治君 只今ノト聯關致シマシテ御尋ネ致シタイノデスガ、幸ニ政務次官カラサウ云フ御答辯ヲ得タノデゴザイマス、ソコデ私一ツ御願シテ置キタイコトハ、今日迄ノ大藏省ノ考トシテハ、今此處ニ現レテ居ルヤウナ完全ナ森林組合ノ出來ル以前ノコトデアリマス、併シ此處ニ新タニ斯ウ云フモノガ生レヤウトシテ居ル、又是ハ必ズ成立スルト、斯ウ云フ頭ノ下ニ一ツ考ヘ直シテ貫ヒタイ、現ニ我々モ山林ト云フ方ニ、僅力實ハ持ッテ居ルノデアリマスルガ、其ノ管理ニ困ッテ居ル、尤モ大キケレバ大イニ考ヘルガ、併シ斯ウ云フモノガ出來レバ一ツ善用シテ、安心シテ持ッテ見タイト云フ氣持ニナッテ居ル譯デ、是ガ出來レバ政府トシテモ一ツノ禍デアル所ノ管理トカ、處分トカ云フコトニ付テモ、大變便利ナ途ガ開カレルノデスカラ、ソレナラ政府ガ全ク山林ヲ持ッテ居ラヌカト云フト、今澤山ノ大山持チデモイラシヤルノデス、森林組合ノ中ニ入ッテ一ツ體驗ヲ嘗メラレル

ト云フコトモ、是モ亦宜イコトデヤナイカ知
ラント斯ウ私ハ思ヒマス、一ツドウカ今此
處ニ斯ウ云フ立派ナ森林組合ト云フモノガ
生レルノデアアル、此ノ前提ノ下ニ一ツ只今
ノ御考ヲ織込シ戴キマシテ、只今奈良縣
ノ方ノ御話モ出マシタガ、現ニ私ノ縣ニモ
サウ云フ氣ノ毒ナノガアルノデアリマシテ、
是ハマア各地方到ル所デ見ル實例ナンド、
稅務署自身デモ非常ニ同情シテ居ラッシャ
ルノデアリマスカラシテ、一ツ今申上ゲタ
コトヲ頭ニ入レラレテ、一ツ新シイ頭デ、
同情アル結論ヲ見出シテ戴クヤウニ御願ヒ
致シマス

○絲原武太郎君 關聯シテ質問致シテ宜シ
ウゴザイマスカ

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ドウゾ

○絲原武太郎君 私ハ前回モ山林ノコトニ
付キマシテ縷々申述ベマシタガ、其ノ事ヲ
重ネテ申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ッデ
居リマスルガ、只今ノ當局ノ御答辯ニ依リ
マスト、物納ハ他ノ方面ノ納稅對照物ノ關
係モアルカラ、是ハ相當困難ダラウトサウ
云フ風ナコトヲ豫想シテノ御答辯デアリマ
シタガ、マア假ニサウナリマスト、結局山
林ヲ納稅ノ對象トスル場合ニ、如何ヤウニ
シテ評價スルカト云フコトガ最モ重大ナ關

係ガアルト思フノデアリマス、數十年ノ年
月ヲ要シマセネバ收益價值ヲ見出シマセヌ
所ノ立木ノ評價、是ガ最モ大切デハナイカ
ト思フノデアリマス、而シテ山林ノ土地ニ
對シマスル價格ハ、是ハ立木アツテコソ土地
ニ價格ヲ生ズルノデ、無立木地ニ山林土地
ノ價格ヲ評定シヤウト云フコトニナリマス
レバ、新タニ造林致シマシタ數十年後ヲ豫
想ヲ致シマシテ、是ノ價格ノ評價ヲセネ
バナラスト云フコトハ、是ハモウ誰モ、常
識ニ明カナル事柄デアリマス、然ルニ今
回ノ改正ニ依リマシテ、一定ノ施業法ニ基
キマシテ國土保安、資材ノ確保ト云フ方面
カラ、今回ノ改正案ガ提出ニナツタ、是ハ私
等山地ニ居住致ス者ハ、一日モ此ノ事柄ハ放
任シ難イ現状ヲ目撃致シテ居ルノデアリマ
ス、デ左様ナ法案ニ依リマシテ、一定ノ制
限ヲ伐採ニ付テ加ヘラレルガ、然ルニ制限
ヲ加ヘラレル其ノ林地ニ對シマシテ、相
續ノ事情ガ起リマシタ際ニハ、是ハ徵稅セ
ラレル、デ施業案ヲ守レバ納稅ハ出來ナイ、
納稅ヲ無理ニシヤウト云フコトニナリマス
レバ、施業案ノ爲ニハ賣却スルヨリ外ナ
イ、只今次官ノ方カラ森林金融ト云フ御話
モアリマシタガ、數十年後ニ於テ假ニ幾ラ
カノ收入ヲ見マス此ノ山林ニ對シマシテ、

若シ此ノ金融ヲ受ケマシテ年々利子ヲ拂ッテ
行キマスト、是デ納稅スルト云フコトニナリ
マシタナラバ、決シテ堪ヘルコトガ出來ナ
イト云フコトハ、是ハモウ豫想シテ餘リア
ル事柄デアリマシテ、到底堪ヘラレナイト
云フコトニナル、茲ニ於キマシテ私ガ御尋
ネ致シタイト思ヒマスコトハ、現在山林評
價ハドウ云フ標準ニ依ッテ是ハ評價ヲ爲
サルノデアリマスカ、參考資料ニ依リマ
スト、前回申上ゲマシタ如ク年々相當ナ
評價ヲ見積ラレテ居ルノデアリマス、恐
ラク只今申上ゲマシタヤウナ事情ヲ以テ
マシテ、納稅者ハ非常ニ私ハ是ハ苦痛ヲシ
ツ、納稅サレテ居ルモノト考ヘマス、又
先刻之ニ依リマシテ皆サンカラ、殊ニ一條
公爵カラモ御述ニナリマシタヤウナ状態ニ
居ラレル人ガ、全國ニ相當アラウト思フノ
デゴザイマス、就キマシテハ評價ノ方法
ヲ、山林ノ永イ收益ヲ見込マレマシテ、而
シテ之ヲ還元シテ、サウシテ之ガ收益ヲ評
價スルト云フコトニナリマスレバ、茲ニ非
常ニ私ハ評價價格ヲ緩和スルト思フ、唯其
處ニ立木ガ、假ニ十年生ノ立木ガアルナラ
バ、是ハ幾ラデアルト云フヤウナ事ノミヲ
以テ算定セラレ、而シテ一定ノ土地ノ評價
ヲ、之ヲ述バシテ假ニ申シマスト、前回デ

モ申シマシタガ一町ノ山林價格ヲ幾ラデア
ルカラ、千町ノ價格ハ是ノ千倍デアルト云
フヤウナ評價ヲサレマシタナラバ、千町ノ
土地ト、一町ノ土地ト、立木ノ状態ハ決シ
テ同ジカラヌノデアリマス、是等ハ稅務署
ノ取扱上非常ニ何ト申シマスカ、手心ニ依ッ
テ初メテ其ノ評價價格ガ決定セララル、ヤウ
ナ事モナキニシモアラズ、納稅者ノ方カラ
言ヘバ誠ニ危險千萬ノコトニ相成ルノデア
リマス、若シ假ニ物納ト云フモノニ付キマ
シテ種々ナル議論ノアルモノト致シマスレ
バ、稅法ノ改正ノ際ニ、此ノ評價ノ基準ヲ
明カニ何カノ算出ヲ以テ示シ、安心シテ相
續稅ノ納稅義務ヲ喜ンデ國家ノ爲ニ應ズル
ヤウナ、私ハ方法ヲ御執リ下サルヤウニ希
望致シマス、而シテ此ノ評價法ハ矢張り一
種ノ法律トセラレマシテ、兩院ノ協賛ヲ經
ラレテ、一ツノ法律トシテ御示ニナルトカ
云フコトノ必要ガアルノデヤナイカト思ヒ
マスノデ、此ノ點ニ付キマシテ政務次官ノ
御考ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(松村光三君) 誠ニ御尤モノ事
デアリマス、此ノ相續稅其ノ他ノ場合ノミナ
ラズ、評價ハ非常ニ困難ナル問題デアリマ
ス、例ヘバ數年前ノヤウナ木材ノ移入、米
材ノ輸入ニ壓倒セラレテ、ア、云フ風ニ木

材市價ノ非常ニ安イ時ガアリ、又此ノ頃ノヤウニ輸入制限ノ爲ニ非常ニ暴騰シテ來ル時モアリマス、ソコデ之ヲドウ云フ風ニ評價スルト云フコトハナカノ、ムツカシイ問題デ、如何ニ基準ヲ定メルカト云フコトハ非常ニムツカシイ問題デアリマスケレドモ、

是ハ御説ノ通りニ、此ノ永イ期間ノ收益ニ依リマスルカ、或ハ永イ期間ノ時價ヲ大體取ルカ、短カイ期間デハ餘リ外ノ物ヨリハ、殊ニ暴騰暴落モ激シイヤウダカラ、何トカ是ハ評價ノ基準ト申シマセウカ、斯ウ云フヤウナモノニ付キマシテハ、モット徹底的ニ一ツ考慮ヲ煩ハス必要ガアルト考ヘマス、要ハ今手加減ト申シマスカ、ドウモ自然評價ノムツカシイ爲ニ、動トモスルト苛酷ニ陥ル虞ガアッテハ、甚ダ遺憾ノコトデアリマスルノデ、斯様ナコトハ殊ニ相續稅等ノ場合ニ、此ノ立木其ノ他森林關係ノ土地ノ評價ニ付テハ苛酷ニ陥ラザルヤウニ十分是ハ留意シナケレバナラヌ事柄ト思ヒマシガ、只今御注意ノ評價ノ基準ハ、果シテウマク定メラレルヤ否ヤ、若シ基準ガ法規ノ上デ定メラレナイナラバ、是等評價ニ付キマシテハ、準則ト申シマスカ、内規ト申シマスカ、サウ云フヤウナコトニ付テ考慮スベキ必要ガ十分アルト考ヘマスノデ、是等

ノコトニ付キマシテハ、尙事務當局ニ何シマシテ、至急一ツ調査ヲ進メテ行キタイト思ッテ居リマス

○絲原武太郎君 私ハ山林ニ關シマスル相續稅ノ納稅、課稅ノ狀況ハ本日不合理デアルト云フコトヲ聞キマシテ、屢、他ノ委員會ニ於キマシテモ、此ノ事ヲ申述ベテ居リマス一人デアリマス、然ルニ未ダ之ヲ實現致シマセヌト云フコトハ、山林所有者多數ノ人ニ對シマシテ、誠ニ遺憾ニ存ジマスルト共ニ、我ガ國ノ家族制度ノ美風ヲ將來永久ニ持續シナケレバナラヌ、而モ民法ニ依リマシテ、是ハ立派ニ助長スルヤウニ相成ッテ居リマス、此ノ方面ト相當ノ衝突ヲ來シマスコトハ、只今ノ皆サンノ御意見デモ明カナコトデアリマス、能ク御考ニナリマスレバ、大藏當局モ是等ノコトハ御承知ノコトト思フノデアリマシテ、何卒速カニ只今御答辯ヲ戴キマシタヤウニ、又皆サンカラ御述ニナリマシタヤウニ、山林所有者ノ立場ニ立歸ッテ御考ニナリマシテ、適當ナ無理ノナイ課稅ニセラレルヤウ、特ニ御研究ヲ御願致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 皆サンモ御存ジデアリマセウガ、大藏省ノ方ハ非常ニ御忙シイノデアリマス、特ニ御願ヲシテ此

ノ時間迄御引留シタノデアリマスガ、大藏省ニ御質問ガ御殘リニナッテ居リマスナラバ、更ニ他ノ機會ニ於テ願フコトニ致シマシテ、大藏次官ハ是デ衆議院ノ方ニオイデニナリマスカラ、後ハ農林關係ノ方ニ付テ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松本學君 私チヨット一口……

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 宜シウゴザイマス

○松本學君 只今物納ノ問題、又評價ノ問題ニ付テ御質問ガ出テ居リマスガ、是ハ何デゴザイマセウカ、既ニ御調査中デゴザイマセウカ

○政府委員(松村光三君) 調査中ト言ヒマス、ソレナラバドウ云フコトヲヤッテ居ルカ、ドノ程度デアルカト重ネテノ御質疑ガアラウト思ヒマス、率直ニ申シマス、所謂調査ト申シマシテモ、森林ノ金融ノ問題ニ付キマシテモ、ドウシテモモウ少シ徹底シタ調査ヲ進メル必要ガアルト考ヘテ居リマス、此ノ間モ衆議院デ質疑ガ出マシタノデ、私モ事務當局ニモウ少シ考ヘテ速カニ一ツ調査ト言フヨリハ、何カ考ヘル必要ガアルノデヤナイカト云フコトヲ申シテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ物納ノ問題ハ森林ニ屢、起ル問題デアリマシテ、今ソレナ

ラバドノ程度、何處迄調べテ居ルノダト云フ御質疑ガアルト恐縮デアリマスガ、マア各國ノ實情ナド調べテ見タリ、ドンナ一體方法デヤッタラ是ハ可能性ヲ生ズルカト云フヤウナコト、其處迄徹底底のニハマダ何デスガ、寄りノ、何カモウ少シ研究ヲ進メタラドウカト云フノデ、此ノ間モ此ノ問題ガ出タノデアリマス、尙私カラモ事務當局ニ言ッテ居リマス、評價基準トカ、方法トカ、其ノ他問題ニナッテ居リマスガ、今御質疑ガアリマシタ是等ノコトニ付キマシテモ、ドウモ常ニムツカシイ、唯大藏省トシテ御答ヘ致シ得ルコトハ、ドウモ苛酷ニ流ル、コトハ速カニ避ケルヤウニ、是ハ何等カノ方法デ出來得ルコトハ速カニ、全國ニ左様ナコトニシタラ宜イト思ッテ居リマス、基準ト申シマスカ、何カ標準ハ、是ハ大藏省ダケデハ決定致シ兼ネルノデ、是ハ農林省關係トモ打合セテ、果シテ合理的ニ何カサウ云フモノガ出シ得ルカドウカト云フヤウナコトヲ、モウ少シ研究サシテ戴キタイト斯ウ考ヘテ居リマス、率直ニ申上ゲマス、此ノ程度ト云フ所迄ハ御答ヘ致シ兼ネルコトヲ御諒承願ヒタイト考ヘマス

○松本學君 誠ニ御急ギノ所ヲ恐縮デゴザイマスガ、只今率直ナ御答ヲ承ツタノデス

ガ、恐ラクサウダラウト私モ思フノデス
ガ、此ノ物納ト云フコトハ本當ノ御調査中
デハナイ、各國ノ例ト云フコトモアリマシ
タガ、私ガ考ヘマスノニ、日本ハ税ノ制度
ニシテモ矢張り特色ヲ持ツノデハナイカ、
ソレヲ各國ニ物納ガナイカラト云フノテ、
日本ニ物納ガドウモウマク行カスト云フコ
トハ考ヘラレナイ、日本ハ家族制度……、農
村ノ問題ニシテモ「アメリカ」ノ農村問題ト
日本ノ農村問題トハ大違ヒダト思ヒマス、
從ッテ農村振興ト云フコトニナレバ、税ノ制
度ト云フモノガ、非常ニ關係ガアルノデア
リマシテ、唯税ハ國庫ノ收入ヲ増セバ宜イ
ト云フヤウナ建前デ税制ヲ定ムベキモノデ
ハナイ、矢張り國情ニ即シタ而モ税ノ制度
ニ依ッテ農村ノ振興ニ如何ナル影響ヲ及スカト
云フコト迄モ考ヘ、又税ノ制度ニ依ッテ家
族制度ガ壞レルカ、壞レヌカト云フコト迄
考ヘテ定メベキモノデハナイカト思ヒマス、
然ルニ從來ノ大藏省ノ税ノ方針ト云フモノ
ハ、ドウモ兎角各國ノ制度トカ云フコトデ、
單ニ國庫ノ收入ヲ増セバ宜イ、如何ニシテ
金錢收入ヲ多クスルカガ建前デアルコトハ
甚ダ遺憾ニ思ヒマス、只今迄御調査ガナイ
ナラバ、早速御調査ヲ願ハナケレバラス
思フノデアリマス、ソレカラ又實ハ私此ノ案

ヲ拜見シタ時ニ直グニ考ヘラレマシタコト
ハ、相當之ニ對シテハ森林業者ニ或程度ノ義
務ガ課セラレテ居ルヤウニ思フ、例ヘバ施
業案ノ如キモノハ、相當國家ノ爲ニ御奉公シ
ナケレバナラス、自分ノ自由ヲ拘束サレル
コトデアリマス、義務ヲ課シテ居ル以上ハ
國家トシテモ之ニ對シテ相當ノ途ヲ考ヘナ
ケレバナラスノデハナイカ、今絲原サンカ
ラモ御意見ガ出マシタガ、私モ先程ノ一條
サント同ジヤウニ、元來相續税ニ依ッテ森林
業者ガ殆ド倒産スルト云フヤウナ例ヲ能ク
知ッテ居リマス、此ノ案ヲ見マシタ時ニ、或
ハ此ノ案ダケデナシニ、同時ニ大藏省關係
ノ何カノ之ニ對スル對案トデモ申スカ、是
ト相關聯シタ案ガ當然出ベキモノデハナイ
カト思フタ位デアリマス、然ルニ何等サウ云
フ方面ニ付テノ御提案モナケレバ、又今政
務次官カラノ御説明ヲ聽イテ見テモ、調査
中デモナイヤウナ狀況デアリマシテハ、此
ノ案ヲ成立サセル上ニ於テ、國家百年ノ大
計カラ考ヘテ見マシテモ、甚ダドウモ片手
落チノコトノヤウニ思ハレルノデアリマス、
此ノコトハ此ノ機會ニ於テ此ノ案ヲ成立サ
セル以上ハ、大藏當局ニ於テ相當ハッキリ
シタ、斯ウ云フヤウナ方針デ將來進ムト云
フ御言明ヲ得テ置キタイヤウナ氣持ガスル

ノデアリマス、如何ナモノデアリマセウカ、
其ノ點ニ付テチヨット御意見ヲ承リタイ
○政府委員(松村光三君) 先程各國ノ實情
ト申シマシタノハ、今ソシナコトヲ申上デ
ル必要ハナイト思ヒマスガ、大體税ノ沿革
ガ物納カラ金納ニナッタ、ソレヲ又或種ノ
特殊ノモノヲ物納ニ戻スト云フコトニナリ
マスガ、物納ヲ考慮スルト云フコトニナリ
マス、單ニ納税ノ金額トカ云フ問題バカ
リデナシニ、矢張り森林トカ不動産トカ云
フ各種ノ物ニ付テ物納ヲヤルト云フ場合ハ、
日本固有ノ家族制度、色々ナモノヲ基本ト
シテ考ヘナケレバナラスコトハ言フヲ俟タ
スノデスガ、假ニ技術的ニ各國ノ例、サウ
云フヤウナモノヲヤッテ居ル場合ニハ、何等
カノ參考的ノ意味ニ於テデアリマシテ、何
モ各國ノ眞似ヲスルト云フ意味デハナイノ
デアリマスカラ、參考的ニ日本ノ實狀ニ即
シテ此ノ物納ノ問題ヲ研究シナケレバナラ
スト、斯ウ考ヘテ居リマスルノデ、ソレデ
假ニ多少調査ヲ致シテ居リマシテモ、之ヲ
實行ニ移ス場合ニハモット／＼徹底的ニ一
ツ之ヲ調査ヲ進メナケレバナラスト、斯ウ
考ヘテ居リマスルノデ、其ノ意味ニ於テ御
答ヲ申上ゲタ次第デアリマス、尙此ノ施業
案ニ付キマシテ先程チヨット御答ヲ忘レテ

居リマシタガ、非常ニ納税ヤ何カニ困ルデ
ヤナイカ、何條デアリマシタカ、私條文ヲ
忘レテ居リマスルガ、生活上ノ問題ノ起ッ
タ時ニハ、是ハ許可ヲ得テ伐採ヲ許スコトニ
多分ナッテ居ルヤウニ記憶シテ居リマス、納
税トカ何トカデ非常ニ困ル場合ニ、施業案ニ
對シテハ其ノ條項デ伐採ヲ許シ得ルコトト
思ヒマスノデ、ソレトモ相續税ニ因ル、
施業案ガアッテモ、ソレヲ認メルト云フ時ニ
足許ヲ見ラレルト云フ現實ノコトハ、ソレ
ハ否定出來マセヌノデ、物納ノ問題モサル
コトナガラドウシテモ是ハ結局、森林金融
根本問題ヲ考ヘナケレバ、今ノ程度ノ不動
産銀行ガヤッテ居ル森林金融デハドウモイ
カヌデヤナイカト云フコトニ考ヘテ居リマ
ス、ソレ等は等ヲ思ヒ合セマシテ、要ハ森
林金融ト云フコトニ付テ調査研究ヲモウ少
シハッキリ進メル必要ガアルデヤナイカ、ソ
レモ私個人トシテノ答辯デアリマスルノデ、
ソレ等ノコトヲ此ノ間カラ私モ考ヘテ居リ
マスルガ、金融ニ付キマシテモ一ツ大藏當
局トシテハ至急ニ調査ヲ進メタイ、斯ウ云
フ意味ニ於テ併セテ申上ゲタイノデアリマ
ス
○松本學君 誠ニ御深切ナ御答デアリマシ
タガ、金融ノコトハ當然大變大事ナコト

デアラウト思ヒマスガ、物納ト云フ問題ハ相當ムツカシイ問題ダト云フコトハ私モ能ク承知シテ居リマスガ、直チニ之ガ實現スルト云フコトヲ期スルコトハ困難デアリマス、評價ノ問題ハ是ハ御取扱上ノ問題ダト思フ、是ハ餘程御考ヲ願ハヌト云フト、トシテモナイ結果ニナルト思ヒマスノデ、此ノ點ハ一ツ是非希望トシテ申上ゲマスガ、大藏當局ハ直グニデモ御調査ヲ願ッテ、此ノ森林法中改正法律案ト云フ新シイ法案ニ連關シタ一ツノ仕事トシテ、或ハ之ヲモット效果アラシムルト云フ一ツノ對案ト云フ意味ニ於テ、大藏省ノ方デソレヲ一ツ十分ニ御研究ヲ願ッテ、何トカ近イ中ニ此ノ評價ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テノ對策ヲ實現スルヤウニ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス、之ヲ此ノ案ヲ成立サセル上ニ於テノ希望トシテ申上ゲテ置キマス

○政府委員(松村光三君) 尙餘事デアリマスガ、多分四月カ五月ニ全國ノ稅務官會議ナドモアリマスノデ、サウ云フ機會ヲ若シ利用出來マスナラバ、利用シテ、全國ノ實情ナドモモウ少シ明白ニ調査シテ何等カサウ云フコトニ付テ善處致シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 農林大臣ハ

色々ノ御都合ガ衆議院ノ方ニアルサウデアリマシテ、御出席ガ出來マセヌデ、次官モ其ノ方ヘ御出席ニナッテ居ッテ、御出デニナルコトハ出來ヌサウデアリマス、幸ニ山林局長ガ御出席デアリマスカラ、農林方面ノ御質問ハ山林局長ニ對シテ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○絲原武太郎君 私ハ潤葉樹林ニ付キマシテ御尋ネ致シテ見タイト思ヒマス、我ガ國ノ山林ノ大部分ヲ占メマシテ、而シテ生ヒ立ッテ居リマス所ノ、潤葉樹林ノ生長致シテ居リマスル所ノ山林ノ總面積ハ約千四百五十町步デナイカト推定致サレマス、而シテ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ御述ニナッテ居ル所ヲ見マスト、一箇年ノ生長推定量ハ、一億二千五百萬石ガ既往ノ狀況デアアルノデゴザイマス、而シテ此ノ中矢張り既往ノ一箇年ノ薪炭用トシテ代採セラレテ居リマスル數量ハ約一億二千萬石ト申サレテ居リマス、サウ致シマスト、差引五百萬石ノ生長ガ年々増加スルト云フ計算ニ相成ルノデゴザイマス、是ガ故ニ薪炭材ノ不足ハ來サナイデヤナイカト云フ御意見モアルヤウニ承ッテ居リマスルガ、潤葉樹ハ決シテ薪炭用材ノミニ使用セラレテ居ルノデハアリマセヌ、他ニ御承知ノ通り、工業用トシテ鐵道ノ枕

木、鑛山ノ坑木、家具ノ材料、其ノ外一部分ナドノ如キハ多少輸出モシテ居ルヤウニ承知致シテ居リマス、然ルニ現在ノ狀況ヲ見マスト、針葉樹材ノ需要ガ非常ニ増加致シテ居リマスカラシテ、之ガ代用材トシテ又相當多量ノ數ヲ使用サレル、即チ潤葉樹林ノ使用石數ノ増大ヲ來スモノト見ナケレバナラス、而シテ薪炭伐採量ノ約半數ハ又木炭用ニ相成ツテ居リマスルノデアリマスルカラシテ、約六千萬石ハ木炭用ニ使用セラレテ居ルモノト考ヘラレマス、而シテ此ノ木炭ノ需要ハ既往一箇年ノ數量ガ約六億五千萬貫位デアルト云フ御説明デアリマスカラシテ、尙又頂戴致シマシタ表ニモ左様記シテゴザイマス、木炭ハ家庭用以外ニ矢張り是モ工業ニ、纖維工業ニ、火藥ノ製造ニ、鑛物工業ニ、其ノ他最モ最近主ナル需要ハ「ガソリン」代用ノ木炭トシテ多量ニ使用セラレテ居リマス、然ルニ此ノ「ガソリン」代用ノ木炭ノ今後ノ趨勢ヲ考ヘマスト、最近發表セラレマシタ所ノ記錄ヲ見マスト、今後全國ノ「ガソリン」消費量ヲ約五割以下ニ節約致シタイ、即チ消費量ヲ半減ニ致シタイ、而シテ之ニ代用スルニ木炭瓦斯ヲ使用シテ運轉ニ差支ナカラシメ、自動車ニハ出來得ル限り多數ノ木炭瓦斯發生爐ヲ強

行的ニ裝置セシメラマストカ、或ハ今後ノ自動車ノ増車ニ對シテハ木炭瓦斯自動車デナケレバ許可ヲシナイト云フヤウナ方針デアアルヤウニ承ッテ居リマス、現在ノ狀況ハ、自動車モ木炭、工場モ木炭、斯ウ云フ風ニ暫クノ間情勢ガ相成ルモノト考ヘマシタナラバ、非常ニ多量ニ木炭ヲ要シマスルガ故ニ、最近農林當局ノ御意見デアアルヤニ發表セラレマシタ新聞記事ヲ拜見シマスト、木炭ノ一億萬貫ノ増産ノ計畫ニ乘リ出スト云フ風ニ承知致シマシタノデゴザイマスルガ、斯様ナ狀態ガ此ノ長期建設ニ依リマシテ暫クノ間繼續ヲ致シマスモノトシマスト、此ノ潤葉樹林ノ將來ニ對シマシテモ決シテ私ハ樂觀ヲ許サヌ事情ガ起ルノデヤナイカト思フ、此ノ點ニ付キマシテ農林當局ハ固ヨリ相當ナ見透シヲ爲サレテ、又御計畫ニモ相成ッテ居ルコトト考ヘマスルガ、如何ナル御計畫ヲ有セラレテ居リマスルカ、殊ニ私等ガ非常ニ樂シンデ居リマシタ滿洲材ノ内地輸入ハコ、暫クノ間ハ見込ガナイヤウニ一般ニ申サレテ居リマス、是モ御調査相成ッテ居ルト思ヒマスガ、若シ滿洲木材ニシテ多少デモ此ノ際内地ノ需要ニ應ズルヤウニ相成リマスレバ、私ハ此ノ杞憂モ或一部分ハ除去シ得ルモノト考ヘマスケレドモ、其ノ點

モ併セテ御調査ニ相成ッテ居リマスレバ、御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 道府縣ニ於キマスル所ノ薪炭林ノ面積ハ大體一千二百萬町歩位ゴザイマス、是カラ出マス所ノ薪炭デアリマスガ、全國ニ於キマスル所ノ薪炭材ノ年々ノ產出量ハ、此ノ表ニモゴザイマスヤウニ、大體一億二三千萬石ト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソコデ今アリマス所ノ薪炭林カラ全部伐レルト云フ譯ニモ行カヌト思ヒマス、薪炭林ノ中ニモ一部用材ニ適スルヤウナモノモアリマセウシ、從ッテ薪炭林カラ出マスモノガ全部薪炭材ニハナラヌト思ヒマスガ、大體ハハ薪炭ノ材料ニ供セラレテ居ルト見テ宜シイト思ヒマス、其ノ外ニ御承知ノ通り用材林カラモ相當ノ薪炭ノ材料ガ出マス、用材ヲ伐リマシタ場合ニ於テ末木、枝條其ノ他ノモノガ是ガ矢張り薪炭材トシテ利用サレル、從ッテ毎年出マス所ノ一億二三千萬貫ノ薪炭材ノ中ノ三割位ハハ用材林カラ出ルモノト私共ハ推定シテ居リマス、ソコデ大體ニ於テ現在ニ於キマシテハ木炭ノ生産ニ付テハ今後木炭ノ產出量ガ相當増加致シマシテモ、是ハ勞力トカ或ハ價格トカ云フヤウナ點カラ相當對策ヲ講ジナイト、ナカノ木炭ノ増

產ト云フコトハ困難ナル實情デアリマスケレドモ、林力其ノモノカラ云ヘバ、左程悲觀シタモノデハナイト考ヘマス、成ル程木炭ノ昨年ノ產出ハ大體六億五千萬貫位ゴザイマシタ、本年ニ至リマシテハ、工業用ノ木炭等モ、ハハ推定デゴザイマスガ、約五千萬貫位殖エハシナイカ、ソレカラ其ノ外家庭用ノ木炭等ヲ加ヘマス、少クトモ八千萬貫、多クテ一億萬貫位ノ需要ガ殖エルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、其ノ外「ガゾリン」代用ノ木炭ト致シマシテ四千萬貫、兩方合セマス、茲ニ一億數千萬貫ノ木炭ノ需要ガ殖エヤシナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、サウシマス、茲ニ一億四千萬貫ノ木炭ノ増產ヲ必要トスルト假定致シマス、之ニ要スル所ノ薪炭原木ハ一千四百萬石ニナリマス、ソコデ一千四百萬石ノ薪炭資材ト云フモノハ、是ハ今申シマシタヤウナコトデアリマスカラ、相當餘裕ハアラウト思ヒマス、尙御承知ノ通り、今迄國有林等ニ於キマシテモ林地ニ捨テテ置キマシタヤウナ枝等モ、此ノ頃集約利用ヲ致シテ居リマス、尙一方此ノ施業ガ合理化致シマスレバ、枝打ラシタ所ノ木デアルトカ、除伐ラシタ所ノ木デアルトカ、斯ウ云フヤウナモノモ薪炭原料ニナリマス、薪炭原木ト

シテハ將來相當ノ餘裕ハアルモノト私ハ考ヘテ居リマス、ソコデ「ガゾリン」代用木炭ノ將來ノ見透シデゴザイマスガ、今年四千萬貫ト見マシタノハ、商工省ノ増產計畫ニ對應致シマシタモノデ、商工省ノ増產計畫ニ依リマス、昭和十三年度ニ五千二百萬貫木炭自動車ニ致シテ、昭和十四年度ニハ六千萬貫木炭自動車ニ致ス、ソコデ此ノ昭和十三年度ノ五千二百萬貫ト昭和十四年度ノ六千萬貫ノ中ノ半分ガ動クト致シマシテ、結局八千二百萬貫對象ト致シマシテ、之ニ對シマシテ、主トシテ是ハ「トラック」、「バス」等大キナモノヲ動カスト致シマシテ、一日百七十五「キロ」走ルモノト致シマシテ、之ニ對スル所ノ薪炭量トシテ四千萬貫ト云フモノヲ出シタノデアリマシテ、相當餘裕アル所ノモノヲ見込シデゴザイマス、更ニ其ノ後ノ商工省ノ計畫ハ、大體ニ於テ十五年度ニ矢張り五千萬貫殖スト、斯ウ云フヤウナ計畫デゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ、結局四千萬貫デハ、ソレカラ出マス所ノ薪炭資材ハ僅ニ四百萬石デアリマス、アト十五年度ニ五千萬貫殖シマシタト致シマシテモ、サウ大シタ數量ニハナラス、ソレデ御承知ノ通り此ノ自動車ノ木炭化ト云フノモ或程度迄制限ガゴザイマシテ、是以上ニナリマスコトハ、

是ハ特殊ノ關係カラ致シマシテ、矢張り「ガゾリン」ノ自動車ト云フモノモ相當數量ヲ保有シテ行カナケレバイカヌヤウナコトニナツテ居ルコトハ、是ハ御承知ノ通りガラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ關係デアリマスカラ、木炭自動車ト云フモノモ無制限ニ殖シ得ナイヤウナ狀態デゴザイマス、左様ナコトデアラウカト思ヒマス、ソレカラ此ノ滿洲材ノ問題デゴザイマスガ、滿洲ニ付キマシテハ、滿洲ノ伐採ハ昨年ヨリ今年、今年ヨリ明年ト、非常ニ殖エル計畫ニナツテ居リマス、併シナガラ此處今年及來年ハ大體滿洲デ伐リマシタ所ノモノハ大體ニ於テ滿洲デ使フ、唯鑄物ノ型等ニ使フ所ノ特別ナ紅松ヲ少々内地ニ移入スルヤウナ計畫ニナツテ居リマスガ、ソレ以外ニハ大體滿洲ニ使フヤウナ計畫デ……「チョット速記ヲ止メテ戴キタイ」

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 速記ヲ始メテ

○絲原武太郎君 極メテ詳細ナル御答辯ヲ戴キマシテ潤葉樹林ニ對シマスル見透シ、瓦斯發生爐裝置ノ自動車ニ對スル木炭ノ供給ト云フコトモ先ヅサウ心配シナクテモ宜

シイノデヤナイカト云フヤウナ模様ニ承リマシタ、此ノ點ハ能ク諒承致シマシタ、次イデ矢張り關聯シテ御伺ヒ致シタイト思ヒマスルノハ、木炭ノ供給ガ果シテ豫期セラ、如ク產出シテ需要ニ應ゼラルルカ否カト云フコトニ付キマシテ御伺ヒ致シテ見タイト思ヒマス、御承知ノ通り、最近ニ於キマシテハ木炭ハ相當利用サレテ居ルヤウデアリマス、又半面ニ山村即チ生産地ノ狀況ヲ私等地方ニ居リマシテ見マスルニ、先日モ申シマシタ如ク勞力ノ不足ヲ致シマス上ニ、炭焼人夫ガ山カラ下リマシテ殷賑産業ニ轉身スル者モナカ、相當多イ有様デア、其ノ他一般ニ勞力ノ事變ニ對シマシテ不足致シマスコトモ御承知ノ通り、其ノ上ニ地方ニ於キマスル諸物價ハ追々騰貴シマス、又幾ラカハ高物價ノ爲デゴザイマセウガ、原本モ徐々ニ値上リノ狀況ヲ致シテ居リマスヤウナ狀況ヲ見マスルト、現ニ私等ノ地方ト於キマシテモ、一昨年ニ比較シマシテ、昨年ハ或程度ノ減產ヲ致シテ居ルコトハ、是ハ局長モ御承知ノコトト思フノデアリマス、然ルニ此ノ半面ニ於キマシテ、今ノドウデモ必要已ムヲ得ザル木炭ノ需要ガ起ツテ參ル、若シ假リニ政府ノ御方針ノ通りト致シマスレバ、木炭ナカリセバ自動車モ動

カナイ、保溫上ニモ困ルガ、モウ一般國民ノ交通ニモ非常ニ支障ヲ來ス、是ハ私ハ重大ナ事柄ダト思フ、決シテ是ハ木炭トカドウトカ云フノデアリマセヌノデ、國策トシテ、燃料消費國策ヲ樹立セラレマシタ曉ニハ、此ノ木炭ヲ供給スルカ否ヤト云フコトニ依リマシテ、只今申上ダマシタヤウナ大キイ關係ヲ及ボスト思フノデアリス、是ハ單リ木炭ノ事柄ノミデアリマセヌ、延イテハ今ノヤウナ交通運輸ニモ相當大キイ問題ヲ齎スヤウニナルコトハ私ノ申ス迄モナイ事柄デアリマス、デ、此ノ農産、鑛産ヲ通ジマシテ、國家ガ全力ヲ擧ゲテ増產計畫ヲ各省デ御立テニナッテ居リマスノデアリマス、之ニ對スル運搬力ノ増大ト、運搬力ノ必要ト云フコトハ、非常ナル大切ナ御役目デア、ルノデアリマス、デ、ドウカ私ハ此ノ木炭増產ハ必ズ御遂行ニ相成リマシテ、左様ナ方面ニ支障ヲ來サナイヤウニ御計畫ノ御成功ヲ眞カラ私ハ祈ルノデゴザイマスガ、萬一是ガ昨年ノヤウナ狀態ヲ繼續致シテ居ルコトニ相成リマスレバ、一方ニ於キマシテ「ガソリン」自動車用ノ木炭ノ供給ヲ致シマスレバ、他方ニ於テハ一般木炭ノ需給ニ變化ヲ齎シマシテ、不足ヲ來スコトニ相成リマシテ、國民ノ燃料ニ非常ニ又迷惑ヲ與ヘル

コトニナリハシマイカト思ハレルノデアリマス、茲ニ於キマシテ先刻ノ局長ノ御答辯中ニモアリマシタノデアリマスガ、此ノ木炭ノ公定價格ニ付テドウシテモ増產トノ關係ヲ有シマスルコトニ相成ル、此ノ木炭公定價格ニ付キマシテハ、衆議院ノ委員會ニ於キマシテモ、相當質問應答ヲ重ネラレタヤウニ速記録デ拜見致シマシタ譯デアリマス、デ、私ハ此ノ生産費ガドウシタトカ、幾ラダトカ云フヤウナ細々シイ計算ハ申上ゲルコトハ、是ハ御承知ノコトデアリマスカラ、省略致シマスガ、此ノ木炭ノ公定價格ノ決定ハ速記録ヲ見マスレバ、隨分商工省ノ方ノ御答辯ニ依リマス、種々ナ關係ヲ以チマシテ、御決定ニ御苦心ニナッタヤウナ御答辯デアッタヤウニ拜見致シマス譯デアリマスガ、固ヨリ木炭ガ國民生活ノ必要品デアリマシテ、大衆消費者側ノ方面ノ生活關係ヲ考慮致サナケレバナリマセズ、又時局下ニ於ケル經濟情勢ノコトモ十分加ヘテ御決定相成ルノ已ムヲ得ナイコトモ私モ承知致シテ居リマス、又一定ノ抑制政策モ必要デアラウト云フコトモ是モ私モ承知致シテ居リマスガ、併シナガラドウシテモ此ノ算定ノ基礎ヲ何處ニ置クガト云フコト

シテ御定メニナッテ置キマセネバ私ハ相成ラスト思フノデアリマス、生産地方ニ於キマスル生産費ハドウシテモ是ハ公定價格ノ御決定ガ唯一ノ私ハ基礎標準ニ相成ルト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ公定價格決定以前ニ能ク全國各地方ノ生産費ニ付テ御研究ニ相成ッテ居リマスルカ否ヤ、私ハ現在ノ公定價格ハ此ノ生産費ト云フコトニ付キマシテ此ノ研究如何ト云フコトヲ、甚ダ失禮ナ言ヒ分デアリマスガ、幾ラカ疑ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、固ヨリ此ノ公定價格ヲ決定致サレマスコトハ單ニ生産費ノ狀況ノミデアリマセヌ、製炭事情ヲ御取調ニナリマス同時ニ、此ノ取引事情モ之ニ加ヘテ算出ニナル、又其ノ他複雑ナル計算モ之ニ參酌サレルト云フノデアリマセウケレドモ、御承知ノ通り、製炭ヲ致シマスル地方ハ、先日申上ダマシタヤウニ、交通誠ニ不便利デアリマシテ、人里カラ二里モ三里モ離レタ山ノ中ニ殆ド小屋掛ケヲシマシテ、單獨生活ニ近イ生活ヲ致シテ居リマス、誠ニ困難ナル製炭事業ニ従事シテ居リマス人ガ相當多イノデアルト云フコトハ、私ハ是ハ生産地ニ居リマス關係上能ク知ツテ居ルノデアリマス、從ッテ其ノ生産品ハ、他ノ機械工業デ生産シマス一定ノ品、一

定ノ時間デ多量ニモ生産シ得ル、中量ニモ生産シ得ル、少量ニモ生産シ得ル、機械ノ運轉如何ニ依ッテ生産致シマスル商品トハ全ク趣ヲ異ニ致シテ居リマスカラ、遽ニ之ガ増産ヲ御圖リニナルト云ツデモ、是ハナカナカ相當茲ニ困難ヲ齎シマシテ、ムヅカシイヤウナ品物デゴザイマス、從ッテ物價抑制政策デアルカラシテ、如何ニ其ノ生産費ノ「コスト」ヲ下ゲヨウ、又上ゲヨウト云フヤウナコトモ遽ニハ爲シ得ナイ、是コソ本當ニ特異性ノ産業デアルト考ヘルノデ、物價委員會ニ於キマシテモ此ノ特異性ノ産業デアルト云フコトヲ十分ニ考慮參酌セラレマシテ、產地ニ於キマスル生産費ヲ調査研究ニ相成リマスト共ニ、市場ニ至リマス迄ノ運搬ニ要スル經費ノ實情等モ同時ニ考慮ヲ加ヘラレマシテ、所謂製炭業者六十五萬戸ノ現狀ノ立場ヲ能ク一理解相成ッテ戴カネバ相成ラヌト私ハ思フ、此ノ理解ガナカッタナラベ、如何ニ増産計畫ヲ樹立ナサレテモ、豫定ノ數量ヲ得兼ネルコトニナリマシテ、寧ロ私ハ減産ノ狀態ヲ來シハシナイカト今日ノ狀態デハ豫想サレル、私ガ先申上ゲマシタヤウニ此ノ木炭ノ減産ヲ萬一致シマスヤウナコトデアリマシタナラバ、サッキ申シマシタヤウナ種々各方面ノ支障ヲ茲ニ來スコトニ

相成ラムコトヲ私ハ虞レルノデアリマス、仍テ今政府ガ御考ニナツテ居リマスル此ノ増産計畫ニ對シマスル木炭公定價格ノ將來ノ御決定ハ農林當局トシテハ如何御考ニ相成リマスデゴザイマセウカ、又物價専門委員會ニ於ケル所ノ農林省ノ御立場ト農林省ノ御發言ノ程度ト言ッテハ、ムヅカシイノデゴザイマスケレドモ、御發言相成リマス所ノ委員ノ方々トカ、其ノ他一體ドウ云フ風ニ相成ッテ居リマスカト云フコトヲ御尋ネ致シタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 木炭ノ増産

ヲ期シマス場合ニ於キマシテハ、假令資材ガ豊富ニアリト致シマシテモ、努力ト價格ト此ノ二ツガ均衡ヲ失シマス、増産ノ結果ヲ期待シ難イコトハ、只今絲原サンノ仰セノ通りデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ私共モ非常ニ今苦心ラシテ居ル次第デアリマス、ソレデ努力ノ問題ト致シマシテハ、是ハ製炭ニ熟達シテ居ル所ノ人ヲ此ノ際多ク集メルト云フコトハ、是ハ實際上不可能ナコトデアリマス、出征其ノ他ノ爲ニ山村ニ於キマシテモ炭焼ノ熟練者ガ減ツテ居ルト云フ事實ハ、是ハドウモ蔽フコトガ出來ナイ、又其ノ一部ガ軍需工業等ノ殷賑産業ニ轉換シツ、アルト云フ事實モ是モ亦認め

ザルヲ得ナイ、ソコデ努力ノ補給策ト致シマシテハ、ドウシテモ熟達シテ居ラス者ト熟達シテ居ル者トヲ適當ニ調整シテ、サウシテ炭ヲ焼カシテ行クト云フコトニ致サレナケレバイカヌト思ヒマス、ソレガ爲ニ炭窯ニ付キマシテモ、從來ノヤウナ單個ノ炭窯デナクシテ、連通式ノ炭窯或ハ集合式ノ炭窯ヲ獎勵シタイト思ヒマス、尙是ト共ニ運搬施設ニ付テノ改良其ノ他ノコトニ付テ十分ノ助成ヲ致シマシテ、努力ト技術ノ調整並各種助成ト相俟チマシテ、努力方面カラ來ル所ノ缺陷ヲ補整シタイト思ヒマス、之ニ對スル所ノ經費ニ付キマシテハ、追加豫算トシテ提出スベク目下大藏當局ト交渉中デゴザイマス、恐ラク不日何等カノ形デ御協賛ヲ蒙ルコトガラウト思ヒマス、ソレハ努力補給ニ對スル所ノ助成政策デゴザイマスガ、一方價格ノ問題、是ガ又非常ニ大事ナ問題デゴザイマシテ、努力ノ補給ガアリ、資材ガ相當アルト假定致シマシテモ、木炭ノ價格ガ低クテ、炭ヲ焼ク人ノ手取ガ非常ニ減少ヲ致シマス場合ニ於テハ、炭ヲ焼ク人ハ自然ニ少クナル、是ハ人情已ムヲ得ナイト思ヒマス、如何ニ國策ノ爲ニオ前方ハ苦痛ヲ忍ンデ焼ケト言ヒマシテモ、既ニ炭焼ト云フ生活ハ現在ニ於テモ惠マレテ

居ラナイ、最モ憐ナル所ノ生活ラシテ居ル人ニ對シテ、更ニ苦痛ヲ忍ベト言フコトハ、是ハ私共トシテハ出來マセヌ、サウ云フ所カラ致シマシテモ、此ノ炭焼ガ喜ンデ炭ヲ焼クヤウナコトニ致サナイトイカヌト思ヒマス、其ノ點ニ付テ私共モ非常ニ苦心ラシテ居ル次第デアリマス、昨年公定價格ヲ作リマシタ時ニハ、勿論各地ニ於キマスル所ノ生産費ナドモ十分考慮ヲ致シマシテ、ソレト市場ノ價格ト云フモノヲ睨ミ合ハセマシテ、アノ公定價格ヲ作りマシタ次第デゴザイマス、然ルニ其ノ後運賃デアルトカ或ハ殊ニ「ガソリン」ガ規正サレタ爲ニ色々運賃ガ高クナル、ソレカラ一般ノ努力費モ高クナルト云フヤウナ關係デ、八月ノ公定價格ガ今日ニ於キマシテハ、必ズシモ總テノ點ニ於テ妥當デアルト申サレナイコトハ、是亦否ムベカラザル事實デアリマス、木炭ノ公定價格ハ本月ガ改訂期デアリマシテ、少クトモ本月末カラ來月ニハ之ガ改訂ヲ致サナケレバナラヌ次第デアリマス、其ノ際ニ於キマシテハ十分サウ云フ點ヲ考慮シテ、公定價格ヲ作ラナケレバイカヌト思ヒマス、ソレカラ生産費ヲ割ッテ致シマス、是ハナカ／＼木炭ノ產出ガ減ルコトハドウモ當然明カナコトデアル、是

ガ資本的ナ工業家ナンカデアリマスレバ、生産費低下ノコトモ或ハ出來ルカモ知レマセヌ、又多角的ニ色々ナ商品ヲ製造シテ居ルヤウナ大會社デアレバ、一方ニ國策ノ爲ニ損ヲシテモ、他ノ方面デ儲ケルカラ、ソレデ埋合セフスルト云フコトモアリマセウガ、炭焼ノヤウナモノニハ、私共考ヘルト、生産費低下ノ餘地ガアルトシデモ極メテ少イモノト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、是等ノ點ハ餘程考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、勿論是ガ片一方ニ於テ大衆ノ生活必需品デアリマシテ、是ガ價格ヲ上ゲルト云フコトハ、色々ノ點カラ、政府ガ全般的ニ物價抑制ノ立場ヲ執ッテ居ル今日ニ於キマシテ極メテムツカシイコトデアリマスカラ、木炭ダケ他ノ價格カラ飛離レテ上ゲルト云フコトハ困難デアラウト思ヒマスケレドモ、十分ニ此ノ一方ニ於ケル所ノ價格抑制ノ對策ト、一方木炭ニ於ケル所ノ木炭ノ特殊性ト云フモノニ鑑ミマシテ、十分何等カ善處ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソコデ此ノ中央物價委員會ノ構成デゴザイマスガ、從來ハ農林側ト致シマシテハ農林次官一人デゴザイマシタガ、此ノ度御承知ノ通り帝國農會長或ハ産業組合中央會副會頭デシタカ、ソレカラ農

林關係ノ各種委員ト云フヤウナ方ヲ三四名更ニ加ヘマシタ次第デゴザイマス、是等ノ點モ色々農林產物ニ付テノ物價ニ付キマシテハ前ヨリモ一層緊密ニ各方面ト連絡ヲ取ッテ、之ガ公定ノ際ニ遺憾ナキヲ期シテ行クト、斯ウ云フコトニナリマシタ次第デゴザイマス、從來トテモ別ニ農林省ノ發言權ガ極メテ弱カッタト申ス譯デハゴザイマセヌケレドモ、今後ハサウ云フ方々ガ御入りニナリマシタノデスカラ、之ヲ通シテ十分ニ斯ウ云フ點ニ付テノ事情ハサウ云フ委員會等ニ於テ十分ニ闡明シタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、左様ナ次第デアリマスカラ、此ノ木炭ノ公定價格ニ付キマシテハ、私共モ非常ナ關心ヲ以テシマシテ、唯表面上價格ガ下ッテモ、木炭ノ出ガ殆ド無クナリマスレバ、是ハ日常生活ニ非常ナ支障ヲ來スモノデアリマスカラ、一面ニ於テハ交通機關ニ對シテモ支障ヲ來スト云フコトニナリマシテ、唯表面上ノ價格ガ下ツタカラ、ソレデ宜シイノダト云フヤウニ安閑トシテ決シテ居ラレナイコトデアリマスカラ、サウ云フ點ヲ餘程考慮シテ此ノ價格ヲ決定シタイト考ヘテ居リマス

○絲原武太郎君 誠ニ詳シイ御懇切ナ御答辯ヲ拜聽致シマシタ、兎ニ角餘程木炭需給ニ關シマシテ御配慮ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、只今公定價格ニ付テモ、山村殊ニ炭燒業者ニ同情アル御答辯ガアリマシテ、此ノ點ハドウカ局長ノ御答辯ガ實現致シマスヤウニ特ニ御努力ヲ乞ヒマスト共ニ、ドウカ木炭ノ生産額ガヨリ以上増シマシヤウ、此ノ際十分ニドウカ支障ガナイヤウニ御指導御努力アラント切望致シマス次第デアリマス、序ニモウ少シアリマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 宜シウゴザイマス

○絲原武太郎君 ソレデハ甚ダ御迷惑デゴザイマスケレドモ、序ニ伺ヒタイト思ヒマスコトハ、只今ノ御答辯中ニモアリマシタ通り、山林資材ノ搬出供給ニハドウシテモ運輸ニ關係ヲ持ツコトハ申ス迄モナイ事柄デアリマシテ、此ノ點ハ御答辯ノ際ニモ御言及ニナッタデアリマス、私特ニ之ニ付テ伺ヒタイトハ、昨年農林省ニ於キマシテハ「バルブ」用資材、鑛山用枕木資材ノ需要激増ノ趨勢ニ鑑ミラレマシテ、時局對策トシマシテ、昭和十三年度ヨリ同ジク十七年度ニ至リマス五箇年計畫ヲ以テ二千八百四十萬石ノ民有林ノ間伐ノ獎勵ヲセラレマシテ、保續的ニ木材ノ増産ヲ圖ラント致シマシテ、既ニ其ノ實施ニ現在當ラレテ居ルノデアリマス、而シテ是等ノ資材ノ需給ニ遺憾ナキヲ期サンガ爲ニ、農林省ハ更ニ各府縣ノ山林會ヲシテソレノノ伐採搬出等ノ機構ヲ整理セラレマシテ、府縣山林會若シクハ中央山林會ハ需要會社トノ間ニ既ニ契約ヲ締結致シマシテ、今ヤ實行ニ移ッテ居ル、此ノ實行ニ當リマシテ最モ大切ナル事柄ハ、輸送ノ圓滑ヲ期シ得ルヤ否ヤト云フコトガ重要ナル條件トナッテ居リマス、若シ輸送ニ萬一圓滑ヲ缺クヤウナコトガアリマシタナラバ、供給ニ依存シマス所ノ重工業、鑛業ト纖維及製紙用「バルブ」生産ノ會社ハ生産擴充計畫ヲ今盛ニ獎勵ニ相成ッテ居リマス、其ノ計畫ニ一大幅挫ヲ來シマスガ故ニ、國策遂行上重大ナル玆ニ支障ガ起ルコトニ相成ルノデアリマス、是ト共ニ一方ハ其ノ間伐資材ノ生産ニ付テモ、松材ノ如キハ、是ガ圓滑ニ參リマセネバ、御承知ノ通り、梅雨ニ向ヒマス時ニ搬出等ガ完全ニ參リマセネバ、廢材ニ近キモノニナルノデアリマス、是等ノコトハ御當局ハ十二分ニ御承知ノ事柄デゴザイマシテ、從ッテ若シ圓滑ヲ缺クト云フヤウナコトガ萬一アリマスレバ、山村ニ於ケル經濟上又少カラザル影響ヲ齎ス、併シナガラ昭

和十三年ノ九月カラ十八年ノ八月ニ至リマス此ノ計畫ノ第一年度ダケノ契約數ハ百五十萬石デアリマス、既ニ是ハモウ契約致シテ居ルニシテ此ノ事業會社ハ之ニ依ッテ製造ノ計畫ヲ立テ居ルノデアリマス、此ノ百五十萬石ノ中ニ國有鐵道ノ運輸ニ依リマスル數量ハ約九十六萬石デアリマシテ、之ニ要シマスル所要貨車數ハ二萬八千六百餘輛ニ上ル見込デアリマス、此ノ資材ハ現ニ日々發送驛ニ集中セラレテ居リマスノデゴザイマスガ、兎角貨車ノ配給ノ不足ニ依リマシテ輸送ノ滯滞ヲ來シツ、アルノデアリマス、仍テ御當局ハ此ノ計畫ト鐵道省ノ間ニ於キマシテ如何ナル交渉ヲ當初爲サレテ居リマスルカ、又此ノ際運輸ノ圓滿ヲ缺キマスルガ爲ニ、大計畫ニ第一年度カラ支障ヲ來スヤウナコトニ相成リマシテハイケマセヌカラ、其ノ御交渉ノ模様ヲ拜承致シタイト共ニ、唯此ノ計畫ノミニ依リマセズ、一般ノ資材ノ運搬或ハ先刻申上ゲマシタ木炭ノ輸送等ニ付キマシテハ、十二分ニ此ノ運輸機關トノ連絡協調ヲ御圖リニ相成リマス必要ガ非常ニ重大性ヲ帶ビテ居ルヤウニ思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ當局ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 誠ニ御尤ナ

御話デゴザイマシテ、此ノ事業ガ愈、始リマス當初ニ於キマシテモ、私共ト致シマシテ鐵道省ノ方ニ其ノ性質ヲ述ベマシテ、貨車ノ配給等ニ付テハ萬遺憾ナキヲ期セラレタキ旨ヲ申出デゴザイマス、ソレデ本年契約致シマシタ百五十萬石ノ材ガ實際ニ驛ニ出廻ッテ參リマスノハ、是カラガ一番最盛期ニナルト思フノデアリマス、ソコデ更ニ愈、最盛期ニ當リマス場合ニ付キマシテハ、私共ノ方カラモ鐵道省ノ方ヘ十分其ノ點ニ付テ申出デマシテ、貨車線ノ惡イガ爲ニ折角伐ッタ材ガ廢材ニナルト云フヤウナコトノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) チョット、モウ彼此時間モ過ギマシタノデ、此ノ程度デ今朝ハ一ツ御質問ヲ打切りマシテ、午後御繼續ニナリマスカドウデスカ

○山本米三君 チョット條項ニ付テ少シク伺ヒタイ點モゴザイマスノデ……

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ午後繼續致シマスコトニ致シマスカラ、其ノ際ニ御質問ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、ソレデハ午前ノ會議ハ是デ止メマシテ、午後一時カラ午後ノ會議ヲ開キマス、是デ休憩致シマス

午前十一時四十五分休憩

午後二時十四分開會

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ午後ノ會議ヲ開キマス、山本サン、御質問ヲ此ノ際願ヒマス

○山本米三君 私ハ少シ條文ニ入リマシテ御伺ヲ致シタイト思ヒマス、甚ダ皆サシニ御迷惑ヲ掛ケマスガ……、施業案ノ内容デゴザイマス、是ハ命令ニ示サレテ居リマスルノヲ親ヒマスルト、森林ノ生産力、林業經營ニ付テノ是ハ理想的ノモノデ、或ハ適地適木トカ、其ノ作業等ニ於キマシテモ、森林ノ能ク狀態ニ應ジテ之ヲ生育サセルト云フ風ナ、極メテ理想的ノモノデアルト思ヒマス、處デ森林所有者ノ經濟的能力ト申シマスルト、是ハ全ク所有者ノ經濟ノ狀態ヲ斟酌シマシテ、其ノ施業ノ上ニ於キマシテ融通ノ……金融ノ少イモノハ、成ルベク金ノ要ヲナイ所ノ方法ニ依ラセルト云フ風ナ、極メテ是ハ所有者ノ斟酌ヲ加ヘラレタル所ト私ハ考ヘルノデゴザイマスルガ、此ノ二ツノモノガ相俟ツテ、都合好ク之ヲバ一致サセルト云フコトハ、非常ニムツカシイコトカト存ズルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ一應政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○政府委員(村上富士太郎君) 施業案ハ、

是ハ其ノ當事者ノ經濟的能力ト、森林ノ生産力ヲ睨ミ合セマシテ、最モ其ノ地ニ適合スルヤウナモノヲ作ラナケレバナラスト考ヘテ居リマス、御承知ノ通り此ノ施業案ヲ作リマスノハ、森林所有者ナリ或ハ森林組合ナリ、即チ其ノ實際森林ノ經營ニ從事スル人ガ作ルモノデゴザイマスカラ、勿論一番其ノ人ノ經營ニ都合ガ好イ、而モ其ノ森林ノ經營デゴザイマスルカラ、是ハ子孫永遠ニ傳ヘル所ノ財産デアリマスカラ、無論合理的ニ經營スルト云フコトヲ矢張り念願トシテ此ノ施業案ハ作ラレルモノト思ヒマス、唯森林ノ合理的經營ト申シマスコトモ、之ヲ抽象的ニ唯機ノ上カラ論ジマスト、色々面倒ナコトモアリマセウシ、畫一的ニ論ジマスと、ソコニ實際ノ經營ト伴ハナイモノガアラウ、ソコデ是ハ何處迄モ實際ノ經營ニ合フヤウニ、實際其ノ人ガ森林ヲ經營シテ、サウシテヤッテ行クニハ、ドウシタナラバ、最モ都合ガ好イカ、斯ウ云フコトヲ基礎トシテ施業案ヲ作ラナケレバナラス、例ヘバ幼齡林ヲ濫伐スルトカ、或ハ非常ナ峻嶮ナル所ヲ開伐スルトカ云フヤウナコトハ、是ハ森林經營所有者ソレ自體ノ爲ニモ實ハ不利益ナコトデアッデ、永遠ノ點カラ見マスルト、左様ナコトヲ致シマスレ

バ森林ノ荒廢ヲ來シ後ハ二度ト立派ナ森林ニナラナイ、即チ子孫ノ爲カラ考ヘマスレバ、決シテ左様ナ林業經營ハ、一種ノ掠奪林業ト申シマセウカ、普通ノ林業ノ軌道ヲ外レタコトデアリマスカラ、左様ナコトハ施業案トシテ組マレル場合ニハナイノデアリマシテ、現在普通ノ林業家ガ、普通ニヤッテ居ラレル所ノコトヲ施業案トシテ組マレレバ、ソレガ即チ公認サレテ來ルト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○山本米三君 モウ少シク解シ兼ネル點ガアリマスガ、自分共ノ只今承リマスル上カラ言ヒマスルト、此ノ森林ノ生産力ト云フモノト、森林所有者ノ經濟能力ト云フモノガ、只今ノ御説明ト相一致スルヤウニ實ハ思ハレルノデゴザイマスガ、ソレハ理想的ニ森林ヲ經營ラシテ行ク、斯ウ云フコトニナリマスル以上、或ハ杉櫨ニ適シタ所ニ杉櫨ヲ植エ、ソレニハソレ相當ノ矢張り費用ヲ要スル、處ガ其ノ森林所有者ハソレダケノ金ヲ持タナイ、斯ウ云フ風ナ場合ト致シマスレバ、或ハ之ヲバ松林ニシテ自然ノ更新ヲ待ツト云フ風ナコトニ互譲スル、此ノ施業案ノ内容ト云フ意味デゴザイマスルガ、今御説明ニ依ルト、是ハ祖先傳來ノ山デアル以上、何時迄モ此ノ山林ニ十分ノ理想的ナ生育ヲサセナケレ

バナラス、斯ウ云フ風ナ意味デアリマスレバ、是ハ經濟的ト云フコトハ、詰リ利潤ヲ得ルト云フ風ナ意味ノ方ニ働クノデゴザイマシテ、其ノ森林所有者ノ懷ト云フ風ナコトニナルノデゴザイマスルノデ、兩方共相一致スルヤウニ考ヘラレルノデゴザイマスルガ、ソレデハ少シク或ハ無理ガ出來ルデアルマイカ、詰リ森林所有者ノ自主的ナ處分デ、斯ウ山ヲ造リタイト思フケレドモ、ドウモ是ハ斯ウ云フ風ニハ少シクイケナイト云フ風ナ意味デアリマスルカ、何レデゴザイマスカ、其ノ點ヲモウ一應承リタイノデゴザイマス

○政府委員(村上富士太郎君) 只今山本サシノ仰セノ通り、矢張り自分ノ懷工合ト云フコトモ是ハ見ナケレバイカスト思ヒマス、私共ノ此處ニ施業案ヲ作ルト云フコトヲ要求シテ居リマスコトハ、林地ノ荒廢ヲ防グコト、幼齡林ノ濫伐ヲ防グコト、ソレカラ伐採シタ跡ニハ天然造林デモ、或ハ人工造林デモ、其處ニ適シタル所ノ森林ヲ造成シテ行ク、是ガ主眼デアリマシテ、從ツテ其處ニ人工造林ヲスルガ、先ヅ林學上カラ見レバ最高ノ適地、一番良イト見ラレマシテモ、其處ニ松モ育ツノダ、松ノ天然生ヲ撫育シテモ立派ナ山ニナルノダ、但シ後ノ利廻計算

カラ見レバ、ソレハ杉ノ方ヲ植エタ方ガ多少宜イカモ知レマセヌケレドモ、山トシテソレヲ續ケテ行ク、即チ土地ノ荒廢ヲ防イデ山トシテズツト續イテ行クニハ、杉デモ宜シ松デモ宜イト云フヤウナ所デアレバ、人工造林ニ投資スルコトガ、其ノ人ノ經濟的ニ見テ不可能トアレバ、之ヲ天然林撫育デ勿論差支ナイノデアリマス、當然サウシテ結構ダラウト思ヒマス、唯杉モ植エズ、松モ植エズ、跡ハ草ヲ其ノ儘生ヤシテ置クノダ、斯ウ云フヤウナコトデハ困ル、斯ウ申シタノデアリマス

○山本米三君 只今ノ御説明デ非常ニ明カニナリマシテゴザイマス、矢張り所有者ノ資カラ斟酌ヲ致シマシテ、最モ其處ニ宜シキ施業案ヲ見付ケル、斯ウ云フ御趣旨ノヤウデゴザイマスルガ、非常ニ其ノ點ハ明確ニナッタノデゴザイマス、續イテ伺ヒマスデゴザイマス、此ノ施業案ヲバ所有者ガ編成ヲ致シマシテ、地方長官ノ認可ヲ求メル場合、或ハ地方長官ガ之ニ變更ヲ命ゼラレタ場合、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、其ノ意見ガ非常ニ著シイ隔リノアリマスル場合ニ於キマシテハ、之ヲバ適當ナ機關ニ諮問サレルヤウナ方法ヲ御執リニナルノデゴザイマセウカ、其ノ邊ヲ伺ヒタイノデゴザイマス

○政府委員(村上富士太郎君) 此ノ施業案ノ編成方針ハ、是ハ極メテ重大ナコトデゴザイマシテ、十分其ノ他々々々ノ民間ノ方々ト協議ヲシテ決メナケレバイカスト思ヒマス、ソコデ此ノ法律案ガ成立致シマシテ施行ノ曉ニ於キマシテハ、各號ニ於キマシテ其ノ地方ノ山林會トカ其ノ他ノ地方ノ林業家ノ代表者ニ集ツテ戴イテ、其ノ縣ニ適スル所ノ施業案ノ編成方針ヲソレノ協議ノ上ニ決メテ行キタイ、而モソレヲ縣一ツノ畫一方針デナク、各地方々々ニサウ云フ大體ノ標準ヲ定メ、相當是ハ伸縮性ニ富シタ所ノ施業案ト云フモノヲ決メテ貰ヒタイ、從ツテ茲ニ縣ヲ又各地区ニ分チマシテ、ソコデ大體ノ標準トナルベキ所ノ施業方針ト云フモノヲ、其ノ地々々々ノ林業家ト協議ノ上ニ、先ヅサウ云フ方針ヲ定メテ行キタイ、斯ウ思フノデアリマス、而シテ愈々施業案ガ出來マシタ時ニ際シマシテ、ソレニ對スル所ノ行政官廳ノ處分ニ付テ、若シ所有者等ニ於キマシテ不服ガアリマスル場合ニ付キマシテハ、農林大臣ノ方ニ之ヲ申出ルトシテ適當ニ之ヲ補正スル途ヲ講ジタイ、斯様ナコトハ省令デ定メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○山本米三君 大變下ウモ御深切ナ御説明

デ能ク解リマシテゴザイマス、只今ノ御説明ニ依リマスルト、先ヅ施業案ノ編成ヲ致シマスノハ、能ク其ノ地方々々ノ状態ニ即シマシテ、林業家或ハ山林會等ノ機關ニ諮ラレマシテ、施業案ヲ編成ヲサレル、斯ウ云フ風ナコトニ承リマシテ、極メテ適當ナコトト思フノデアリマス、併シ是ガ何カ斯ウ變更ヲ命ゼラレル、ソレデモ更ニ所有者ト、之ヲ監督サレマス所ノ行政官トノ間ニ於キマシテ、隔リノアル場合ニハ、只今ノ御説明ニ依リマスルト、省令ヲ以テ農林大臣ガ之ヲ決裁ヲスル、斯ウ云フ風ニ承ツクノデアリマスガ、是ハ有ラユル總テノ法規ニ於キマシテモ、先ヅ訴願トカ何トカ他ノ方法ニ依ルベキコトデハゴザイマセヌデゴザイマセウカ、其ノ邊ヲ一應伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(村上富士太郎君) 御承知ノ此

ノ森林法ニモ、今迄モ開墾ノ制限トカ或ハ保安林編入前ノ伐採禁止ト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナ相當民間ノ森林所有者ノ所有權ヲ制限スル規定ガアリマス、是等ニ依ッテ訴願ノ途ヲ開イテゴザイマセヌ、其ノ外今迄斯ウ云フ土地關係ノ牧野法トカ史蹟名勝天然紀念物法等ニ於キマシテモ、簡單ナ斯ウ

云フヤウナ行政處分ニ付テハ訴願ノ途ヲ開

イテゴザイマセヌノデ、是ハ全般的ニ訴願法改正ノ時ニ無論考慮スベキ問題ト思ヒマシマス、此處ニ於テ是ダケニ付キマシテ訴願ノ途ヲ開クノハドウカト思ヒマシテ、ソレハ此處ニ設ケテナイノデアリマス、併シナガラハ是ハ相當重大ナコトト思ヒマシマス、所有者ニ於テ地方長官ノ處分ニ異議ガアル場合ニ於テハ、農林大臣ニ對シテ之ヲ申出デテ、サウ云フ場合ニ農林大臣ガ其ノ意見ヲ能ク聽イテ何レカニ決定スル、サウ云フコトハ省令ヲ以テ途ヲ開キタイ、是ハ衆議院ニ於テモサウ云フヤウニ答辯致シタ次第デアリマス

○山本米三君 只今ノ御説明一應了承致シ

マシテゴザイマスガ、何分個人ノ權利ニ關スルコトデアリマシテ、事重大デアリマスカラ、ドウカ能ク其ノ邊ヲ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、續イテ御伺ヲ致シマスノハ此ノ改正法案ハ、説明ニ依リマスルト先ヅ八年間ニ完成セラレルト云フ風ナ御豫定デアルト承ツクノデアリマスガ、左様デアリマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 此ノ改正法律ハ無論是カラ急イデ施行命令等ヲ作りマシテ、成ルベク早く施行シタイト思ヒマス、併シナガラソレニ基キマシテ日本全國ノ大

體我々ガ作ッテ欲シイト思フ所ニ、施業案ガ

全部出來上リマス最後ガ八年位ニナルダラウト、斯ウ云フ譯デゴザイマス、斯ウ云フ法律ヲ出シマシテ、一氣呵成ニ全部ヲヤルト云フコトハ、是ハ色々ナ方ニ支障ヲ來シ、又非常ニ其處ニ無理モ生ジマスノデ、十分各林業家ニ御協力ヲ願ヒ、法律ノ趣旨ヲ能ク闡明シテ、是ハ一ツノ國家百年ノ大計ニナル譯デゴザイマスカラ、其ノ完成時期ヲ左様ニ最後ヲ八年ト見タノデゴザイマス

○山本米三君 只今ノ御説明ニ依リマシテ、

本法案ガ一氣呵成ニ全國ニ之ヲ施行スルト云フコトハ至難デアリマスルノデ、完成ヲ八年ノ後ニ待ツ、最モ必要ナル場所ニ之ヲ始メルト云フヤウナ御説明ト承ツクノデゴザイマスルガ、サウ致シマスルト、此ノ法案ガ總テ完成……全國ニ行互リマスル迄ノ處置ト致シマシテ、其ノ間既ニ早伐ハ過代ト云フコトガ行ハレルノデ之ヲマア防止シ、尙一面造林ヲバ獎勵スル上ニ於キマシテ、此ノ第十條ハ設ケラレタモノト解釋ヲシテ宜シイノカ承リタウゴザイマス、尙「特ニ必要アリ」ト云フ文字モゴザイマスルシ、「區域又ハ箇所及期間ヲ定メ伐採方法又ハ造林其ノ他伐採ニ伴フ必要ナル事項」トゴザイマスルケレドモ、差支ノナイ限リ詳細ニ此ノ點

ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 只今山本委

員ノ御解釋ノ通り、施業案ヲ全部改正シマスノニハ相當ノ時間ガ掛リマス、其ノ前ニ、ドウモ施業案ヲ編成ナドシテ縛ラレル前ニ過伐、早伐ヲシテシマフ、マア左様ナコトハナカラウト思ヒマスカレドモ、矢張り法律トシテハサウ云フコトヲ豫想シテ書イテ置キマセヌト、其處ニ拔落ガ出來マスノデ、此ノ十條ヲ入レタ譯デゴザイマス、此ノ十條ニ於キマシテハ、例ヘバ二十年以下ノ幼齡林デアレバ、區域間伐ノ外ハ伐ッテハナラストカ、成熟林ニアリマシテハ一々之ヲ抑ヘル必要モアリマセヌノデセウガ、一年二百町歩、或ハ二百町歩モ一團地一遍ニ伐リマスレバ、是モ平坦林ニアッテハ、治水上其ノ他ノ支障ノナイ所ナラバ兎モ角、山嶽林等ニアッテ、其處ニ數百町歩ノ裸地ガ一年ニ直グ出來ルト云フヤウナコトハ場合ニ依ッテハ困ル、左様ナ時ニハ其處ニ大體箇所ヲ指定シ、一年ノ皆伐面積ヲ五十町歩以下ニスルトカ、或ハ期間ハ何年デ、例ヘバ五年ナラ、十年間ニ伐レト云フヤウナコトヲシタイ、是ハ特ニ此ノ林相ガ破壊シテ、森林ノ生産ノ保續ガ出來ナイト云フヤウナ危險ノアル場合ニ之ヲ發動シタイ、直グ之ヲ發動

スルト云フ意味デヤゴザイマスヌ、此ノ森林ノ伐採ノコトハ、是ガチヨット第三者カラ見マスルト、十町歩位ト云フト、直グニ濫伐ニ見ラレルヤウナ虞ガアル、左様ナコトハ我々ノ方モ無論考ヘテ居リマセヌ、十分是ハ本當ニイカスト云フ場合ニ發動サセタイト考ヘテ居リマス

○山本米三君 能ク了承致シマシテゴザイマス、續イテ十一條ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、十一條ニハ官衙ノ但書ガ附イテ居リマスガ、是ハ衆議院ノ方デモ御説明モ承リマシタ所ニ依リマス、極メテ狹義ニ解釋サレテ居リマシヤウニ思ハレマスガ、但書ヲ濫用致シマシタラバ本法案ガ詰リ早伐、過伐ヲ抑制スルコトニハ全ク骨抜ノヤウニ相成ルヤウニ考ヘマス、併シ又此ノ代行ノ條項ハ是ハ随分ト手厳シイ條項デゴザイマスガ、以前ノ森林法ニモ無論此ノ條項ハアツタノデゴザイマスケレドモ、厲行ガ出來ナイコトニ依ッテ其ノ儘ニナツテ居リマスガ、是ハ其ノ條項ハ矢張り實行ノ場合ハアルト考ヘテ宜イノデゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(村上富士太郎君) 此ノ十一條ノ履行ハ只今仰セノ通り是ハ相當狹ク解セナケレバナラヌノデ、之ヲ廣ク解シマス

結局此ノ法律其ノモノガ非常ナ拔ケ穴ガ出來ルコトニナル、勿論例ヘバ一家ガ破産スルトカ、或ハ離散スルトカ云フヤウナ場合ニ限リタイト思ヒマス、勿論午前中ニモ議論ガアリマシタヤウニ、相續稅ヲ支拂フヤウナ場合ニ於テドモソレヲ伐ラナケレバ相續稅ヲ拂ヘナイ、外ノ破産ニナルトカト云フヤウナ場合ハ無論是ハ適用ガアリマスケレドモ、外ニ色々ノ財産モアルケレドモ先ヅ森林カラ伐ッテ行カウト云フ場合ニハ適用ニナラヌト考ヘマス、ソコデ一項ノ方ノ問題デゴザイマスガ、從來モ造林命令ヲ出シマシタ例ハ是ハ屢、ゴザイマス、併シ其ノ場合ニ於テ從來造林命令ガ出マスレバ、大體ニ於テ其ノ命令ニ依ッテ林業家ハ造林サレタノデアリマシテ、造林命令ガアルニモ拘ラズソレヲ無視シタ事例ハナイノデゴザイマス、從ッテ代行スルト云フヤウナ事例ハ未ダ餘リナカッタノデアリマス、是ハ總テ此ノ林業家ガ國法ヲ遵守セラレタ結果ダト思ヒマス、ソレデ今後ト雖モ普通ノ場合ニ於テハ代行ト云フ問題ハ起ラヌト思ヒマス、是ハ總テ斯ウ云フ行政命令ニ對スル締メ括リト致シマシテ、最後ハ矢張り國家ニ於テ代行スルト云フ規定ヲ置イテ置キマセヌト、最後ノ段階ヲ締メ括ル譯ニ參リマセヌノデ

置イテアル譯デゴザイマス、普通是ハシヨツチュウ之ヲ適用致シマス云フコトハ山村ニ於ケル處ノ官民間ノ階調ヲ破ルコトニナッテイケナイコトト考ヘテ居リマス

○山本米三君 只今ノ御説明デ能ク明瞭致シマシタガ、是ハ誠ニ重大ナコトデゴザイマシテ、此ノ案ノ制定ニ御關係ノ政府ト致シマシテハ、能ク法ノ精神ガ分ッテ居リマスルデ、施行ニ何等差支ハゴザイマセヌガ、後ニナリマスト矢張り現レタ法文ダケデ總テノコトガ施行セラレル上ニ於キマシテ、此ノ傳家ノ寶刀トデモ申シマスカ、是ハ無論拔キマセヌノガ値打デゴザイマスルガ、ヒヨット之ハ過ッテ傷ツケルコトモ考ヘラレヌデモナイノデゴザイマスノデ、又是等ニ依ッテ林業家ガ造林ヲバズンノヤルト云フコトモ少シク私ハ考ヘ得ラレヌノデゴザイマス、無論法律トシテ一ツヲ取締リト申シマスカ、極リト云フモノガ必要デハアリマセウガ、矢張り一面造林ノ出來ルヤウナ御指導ヲシテ戴キ、又出來ルヤウナ補助モサレ、又一面材價ノ安定トカ、總テ此ノ造林ニ適シタ施設ヲ行ハレルコトニ依リマシテ施行出來ルノデアリマシテ、此ノ寶刀ガ怖イガ爲ニ必ズシモ造林ガ進ムト云フコトデモ私ハナイデアラウト思ヒマス、斯カル見地カラ考

ヘマシテ斯様ナ括リハ餘リニモ少シク苛酷デアルノデアルマイカ、是ハ詰リ法文ニモゴザイマス通り代行ヲ行政官廳ニ於テ致シマシテ「造林其ノ他施業上必要ナル行爲ヲ爲シ又ハ爲サシムルニ要シタル費用ハ行政官廳ニ於テ行政執行法第六條ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得」ト云フノデゴザイマスカラ差押ヲ致シマシテデモ此ノ徵收出來ルト斯ウ云フ風ナコトニナルノデゴザイマス、其ノ邊ニ付キマシテ恐縮デゴザイマスガ、左様ナ一ツ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(村上富士太郎君) 勿論之ヲ直チニ實行致シマスコトハ、先ニ申シマシタ通り、是ハ却テ私有林業ニ對シテ非常ナ壓迫ニナルト思ヒマス、是ハ現行法ニ於キマシテモ第十一條ニゴザイマス規定デゴザイマシテ、此ノ規定ハ斯ウ云フヤウナ各種法律ニ皆付イテ居ル規定デゴザイマスガ、結局伐採停止命令ヲシタニモ拘ラズ伐採ヲシタ、サウシテ跡ヲ造林シナイ、造林命令ヲ出シタニ拘ラズ造林シナイ、極メテ惡性ナ人ニ對シテ最後ノ手段トシテ實行スル、普通ノ場合ニ於キマシテハ……從來ハ造林ニ對シマシテモ、伐採跡地ニ對スル補助ト云フモノハ致シマセヌデシタガ、今度造林ノ豫算ヲ倍額ニ増加致シマス共ニ、伐採跡

地ニ對シテ補助金ヲ出スコトヲ致シマシタ、尙一方補助金ヲ貰フテモ、残りハ全部自分ノ費用デシナケレバナラスト云フコトガ、大面積ノ造林等ニ付キマシテハ困難ナコトデアラウト思ヒマス、ソコデ從來カラモ縣ガ私有林ノ持主ト契約ヲ結ンデ、縣行造林等ヲヤツテ居ル向キモアリマスガ、是等ノコトモ此ノ法案ガ成立スルト共ニ一層獎勵致シマシテ、左様ナ造林費ガ今無クモ縣トノ契約ニ依リマシテ、造林ノ木ガ成林致シマシテ伐採收入ヲ得マシタ時、其ノ代金ヲ分

上ニ於キマシテ、金融業者トノ間ニハ何等支障ハナイノデゴザイマセウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデゴザイマス

其ノ薪ノ値段ヲ目的トシテ金融セラレル方ハ先ヅナカラウト思ヒマスノデ、幼齡造林地等ノ場合ニ於テハ、ソレハ矢張り寧ロ土地、或ハ造林地トシテノ價值ヲ見ラレテ金融セラレテ居ルノデアリマスカラ、施業案ト云フモノト抵觸スルコトハナカラウト思ヒマス

アリマシテ、ソレヨリ五年十年縮メ或ハ伸シテモソレハ自由デアリマス、結局杉ノ伐期ト致シマシテモ、五十年六十年或ハ四十

收スルト云フ契約ノ下ニ、縣ニ於テ代ツテ造林スル、斯ウ云フヤウナコトモ獎勵シテ行キタイ、成ルベク獎勵施設デヤツテ行クコトデアリマシテ、此ノ命令代行ト云フコトハ、是ハモウ最後ノ手段ト致シタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○政府委員(村上富士太郎君) 今金融ノ擔保ニナツテ居リマスノハ相當ナ面積デゴザイマスガ、是ハ大體ニ於テ伐期ニ達シ、又ハ伐期ニ達セムトシタル所ノ森林デゴザイマシテ、是等ノ森林ニ付キマシテハ抵當權ヲ實行シテ、山ヲ取ルナリ、或ハ其ノ立木ナリヲ賣拂フナリニ付テ、施業案トノ關係上別ニ支障ヲ來スコトハナイト思ヒマス、幼齡造林地等ヲ擔保ニ取リマシタ場合ニ於テハ、成ル程抵當權ヲ實行シタ場合ニ於テ、其ノ木ガ伐レナイト云フコトガアラウト思ヒマスガ、實際問題トシテ幼齡造林地ヲ擔保ニナルト云フコトハ、現在ノ金融機構ニ於テハムヅカシイノデアリマシテ、若シソレヲ取ツテ居ル人ガアルト假定スレバ、是ハ其ノ木ガ目的デナクテ、寧ロ愈々抵當權ヲ實行シタ時ニハ、山ゴト自分ノ所有ニシテ自分ガ自ラ森林ヲ經營サレルカ、或ハソレヲ森林地トシテ土地、立木共ニ賣拂ハウト云フ考デ、抵當權ニ取ラレタノデアリマシテ、マダ利用期ニ達シナイ所ノ、ソレガ幼材デアル場合ニ、僅カニ薪ノ値段トシテ賣ラナケレバナラスト云フヤウナモノヲ、

○山本米三君 只今局長ノ御説明ノ如ク、幼齡樹ヲ擔保トスル場合ハ餘リ無イト私共モ考ヘルノデゴザイマス、大抵矢張り伐期ニ近イモノガ抵當物トナツテ提供サレルノデアルヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、併シ其ノ伐期ニ達シタモノト雖モ、矢張り施業案デ之ヲ處分スル時期ニ、伐レナイト云フ風ナ場合ハ多少斟酌ヲサレマスノデゴザイマセウカ、矢張り施業案ノ通行ハナケレバナラストノデゴザイマセウカ、其ノ點ダケ伺ヘレバ結構ト思ヒマス

用ノ目的カラ違フテ居ルカモ知レマセヌ、例ヘバ酒樽ニスルニハ非常ニ長伐期ヲ取ラナケレバナラストガ、電信柱ニスルニハ三四年デ宜シイ、ソレデアリマスカラ、決シテ伐期ノ短縮ガ林地ノ跡地ヲ荒廢ニ導クト云フコトハナイノデ、ダカラサウ云フ場合ニ施業案ニ決メマシタ伐期ヨリ、低ク伐ツテモ一向差支ヘナイ、當然實行シ得ルコトト考ヘテ居リマス

○山本米三君 是ハ只今ノ御説ヲ聽キマス

○政府委員(村上富士太郎君) 施業案ニハ、伐期ハゴザイマスケレドモ、是ハ伐期ノ繰上ガ或ハ繰下ゲト云フコトガ當然行ハルベキモノト思ヒマス、現ニ國有林等ニ於テサヘソレハ實行シテ居ルノデアリマス、六十年ト決メマシタカラ、六十年ニナレバ、其ノ時ノ經濟市況ガドウアラウトモ、必ズ伐ラナケレバナラスト云フモノデモナイノデ

○山本米三君 只今ノ御説明デ非常ニ安心ヲ致シマシテゴザイマス、從來抵當トシテ林業者ガ提供シテ居リマシタモノニ對シマシテモ、又將來ニ對シマシテモ、大イニ安心ヲ得タコトト思フノデゴザイマス、續イテ森林組合ノ問題ヲ續ケサシテ載キタイト思ヒマス、此ノ森林組合ハ強制シテ加入サセルノデゴザイマセウカ、是迄ノ土功若シクハ其ノ他ノ森林組合ト致シマシテハ、三分ノ二ノ贊成ヲ求メマシテ、其ノ贊成ガ繼リマスレバ強制サレル、斯ウ云フ風ナ仕組ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、矢張り今度ノ森林組合モ同じ建前ニナルノデゴザイマ

アリマシテ、ソレヨリ五年十年縮メ或ハ伸シテモソレハ自由デアリマス、結局杉ノ伐期ト致シマシテモ、五十年六十年或ハ四十

○山本米三君 是ハ只今ノ御説ヲ聽キマス

○政府委員(村上富士太郎君) 施業案ニハ、伐期ハゴザイマスケレドモ、是ハ伐期ノ繰上ガ或ハ繰下ゲト云フコトガ當然行ハルベキモノト思ヒマス、現ニ國有林等ニ於テサヘソレハ實行シテ居ルノデアリマス、六十年ト決メマシタカラ、六十年ニナレバ、其ノ時ノ經濟市況ガドウアラウトモ、必ズ伐ラナケレバナラスト云フモノデモナイノデ

○山本米三君 只今ノ御説明デ非常ニ安心ヲ致シマシテゴザイマス、從來抵當トシテ林業者ガ提供シテ居リマシタモノニ對シマシテモ、又將來ニ對シマシテモ、大イニ安心ヲ得タコトト思フノデゴザイマス、續イテ森林組合ノ問題ヲ續ケサシテ載キタイト思ヒマス、此ノ森林組合ハ強制シテ加入サセルノデゴザイマセウカ、是迄ノ土功若シクハ其ノ他ノ森林組合ト致シマシテハ、三分ノ二ノ贊成ヲ求メマシテ、其ノ贊成ガ繼リマスレバ強制サレル、斯ウ云フ風ナ仕組ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、矢張り今度ノ森林組合モ同じ建前ニナルノデゴザイマ

アリマシテ、ソレヨリ五年十年縮メ或ハ伸シテモソレハ自由デアリマス、結局杉ノ伐期ト致シマシテモ、五十年六十年或ハ四十

○山本米三君 是ハ只今ノ御説ヲ聽キマス

○政府委員(村上富士太郎君) 施業案ニハ、伐期ハゴザイマスケレドモ、是ハ伐期ノ繰上ガ或ハ繰下ゲト云フコトガ當然行ハルベキモノト思ヒマス、現ニ國有林等ニ於テサヘソレハ實行シテ居ルノデアリマス、六十年ト決メマシタカラ、六十年ニナレバ、其ノ時ノ經濟市況ガドウアラウトモ、必ズ伐ラナケレバナラスト云フモノデモナイノデ

○山本米三君 只今ノ御説明デ非常ニ安心ヲ致シマシテゴザイマス、從來抵當トシテ林業者ガ提供シテ居リマシタモノニ對シマシテモ、又將來ニ對シマシテモ、大イニ安心ヲ得タコトト思フノデゴザイマス、續イテ森林組合ノ問題ヲ續ケサシテ載キタイト思ヒマス、此ノ森林組合ハ強制シテ加入サセルノデゴザイマセウカ、是迄ノ土功若シクハ其ノ他ノ森林組合ト致シマシテハ、三分ノ二ノ贊成ヲ求メマシテ、其ノ贊成ガ繼リマスレバ強制サレル、斯ウ云フ風ナ仕組ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、矢張り今度ノ森林組合モ同じ建前ニナルノデゴザイマ

アリマシテ、ソレヨリ五年十年縮メ或ハ伸シテモソレハ自由デアリマス、結局杉ノ伐期ト致シマシテモ、五十年六十年或ハ四十

○山本米三君 是ハ只今ノ御説ヲ聽キマス

○政府委員(村上富士太郎君) 施業案ニハ、伐期ハゴザイマスケレドモ、是ハ伐期ノ繰上ガ或ハ繰下ゲト云フコトガ當然行ハルベキモノト思ヒマス、現ニ國有林等ニ於テサヘソレハ實行シテ居ルノデアリマス、六十年ト決メマシタカラ、六十年ニナレバ、其ノ時ノ經濟市況ガドウアラウトモ、必ズ伐ラナケレバナラスト云フモノデモナイノデ

○山本米三君 只今ノ御説明デ非常ニ安心ヲ致シマシテゴザイマス、從來抵當トシテ林業者ガ提供シテ居リマシタモノニ對シマシテモ、又將來ニ對シマシテモ、大イニ安心ヲ得タコトト思フノデゴザイマス、續イテ森林組合ノ問題ヲ續ケサシテ載キタイト思ヒマス、此ノ森林組合ハ強制シテ加入サセルノデゴザイマセウカ、是迄ノ土功若シクハ其ノ他ノ森林組合ト致シマシテハ、三分ノ二ノ贊成ヲ求メマシテ、其ノ贊成ガ繼リマスレバ強制サレル、斯ウ云フ風ナ仕組ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、矢張り今度ノ森林組合モ同じ建前ニナルノデゴザイマ

アリマシテ、ソレヨリ五年十年縮メ或ハ伸シテモソレハ自由デアリマス、結局杉ノ伐期ト致シマシテモ、五十年六十年或ハ四十

○山本米三君 是ハ只今ノ御説ヲ聽キマス

○政府委員(村上富士太郎君) 施業案ニハ、伐期ハゴザイマスケレドモ、是ハ伐期ノ繰上ガ或ハ繰下ゲト云フコトガ當然行ハルベキモノト思ヒマス、現ニ國有林等ニ於テサヘソレハ實行シテ居ルノデアリマス、六十年ト決メマシタカラ、六十年ニナレバ、其ノ時ノ經濟市況ガドウアラウトモ、必ズ伐ラナケレバナラスト云フモノデモナイノデ

○山本米三君 只今ノ御説明デ非常ニ安心ヲ致シマシテゴザイマス、從來抵當トシテ林業者ガ提供シテ居リマシタモノニ對シマシテモ、又將來ニ對シマシテモ、大イニ安心ヲ得タコトト思フノデゴザイマス、續イテ森林組合ノ問題ヲ續ケサシテ載キタイト思ヒマス、此ノ森林組合ハ強制シテ加入サセルノデゴザイマセウカ、是迄ノ土功若シクハ其ノ他ノ森林組合ト致シマシテハ、三分ノ二ノ贊成ヲ求メマシテ、其ノ贊成ガ繼リマスレバ強制サレル、斯ウ云フ風ナ仕組ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、矢張り今度ノ森林組合モ同じ建前ニナルノデゴザイマ

アリマシテ、ソレヨリ五年十年縮メ或ハ伸シテモソレハ自由デアリマス、結局杉ノ伐期ト致シマシテモ、五十年六十年或ハ四十

○山本米三君 是ハ只今ノ御説ヲ聽キマス

○政府委員(村上富士太郎君) 施業案ニハ、伐期ハゴザイマスケレドモ、是ハ伐期ノ繰上ガ或ハ繰下ゲト云フコトガ當然行ハルベキモノト思ヒマス、現ニ國有林等ニ於テサヘソレハ實行シテ居ルノデアリマス、六十年ト決メマシタカラ、六十年ニナレバ、其ノ時ノ經濟市況ガドウアラウトモ、必ズ伐ラナケレバナラスト云フモノデモナイノデ

○山本米三君 只今ノ御説明デ非常ニ安心ヲ致シマシテゴザイマス、從來抵當トシテ林業者ガ提供シテ居リマシタモノニ對シマシテモ、又將來ニ對シマシテモ、大イニ安心ヲ得タコトト思フノデゴザイマス、續イテ森林組合ノ問題ヲ續ケサシテ載キタイト思ヒマス、此ノ森林組合ハ強制シテ加入サセルノデゴザイマセウカ、是迄ノ土功若シクハ其ノ他ノ森林組合ト致シマシテハ、三分ノ二ノ贊成ヲ求メマシテ、其ノ贊成ガ繼リマスレバ強制サレル、斯ウ云フ風ナ仕組ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、矢張り今度ノ森林組合モ同じ建前ニナルノデゴザイマ

アリマシテ、ソレヨリ五年十年縮メ或ハ伸シテモソレハ自由デアリマス、結局杉ノ伐期ト致シマシテモ、五十年六十年或ハ四十

セウカ、一應其ノ邊ヲ伺ヒタウゴザイマス
○政府委員(村上富士太郎君) 其ノ點ハ從來ト變リゴザイマセス、人間ガ三分ノ二以上、其ノ人ノ所有スル森林ニ於テ三分ノ二以上、此ノ兩方ノ條件ガ合致シマセスト森林組合ガ成立致シマセス、サウシテソレガ成立致シマシタ時ハ、地區内ニアル森林所有者ハ同意シナイ人デモ入ラナケレバナラス、是ハ現行法ト同ジデアリマス

○山本米三君 能ク了承致シテゴザイマス、處デ是ハ甚ダ入念ニ等シイモノニナルノデアリマスガ、地區内トゴザイマス、矢張り其ノ土地、區域ガ地區内ト云フコトニナルノデゴザイマス、處デ今度ノ改正案ニ依リマス、五十町歩以上ノモノハ除カレル、是ハ單獨ニ施業案ヲ編成シ得ル、斯ウ云フコトニナッテハ居ルノデゴザイマスカラ、其ノ町村ニ編成サレマス處ノ森林組合ニハ、五十町歩以上ノモノヲ除外シテ宜イ譯ニナルノデゴザイマセウカ、念ノ爲ニ伺ヒタイ

○政府委員(村上富士太郎君) 五十町歩以上ノ森林所有者ニシテ、獨立シテ施業案ヲ作り、獨立シテ施業シタイト思ハレル方ハ、森林組合加入ノ義務ハゴザイマセス、百五十町歩以上ノ方デモ森林組合ニ入ッた方ガ便利ダ、又普通ノ場合ニ於テハ林道ノ

利用其ノ他デ便利ニナリマスカラ、左様ナ場合ニ於テハ森林組合ニ入レテソレハ差支ナイノデアリマス

○山本米三君 今回設ケラレマス森林組合ニハ二様ゴザイマシテ、一ハ施業案ノ編成ノ目的ト、一ハソレ以上ニ更ニ以外ノ目的ヲ加味致シマシタ所ノ出資組合、斯ウ云フ風ナニツガアルヤウデゴザイマスガ、是ハ濫伐ヲ防止スル、斯ウ云フ風ナ目的ヲ達成シマスルノミト考ヘマスレバ、普通ノ此ノ出資ヲ要セナイ組合デ澤山デアルト考ヘ

○政府委員(村上富士太郎君) 濫伐防止ダケノ意味カラ言ヘバ、御説ノ通り出資組合デナクテ宜シイノデアリマス、唯御承知ノ通り森林所有者等ガ割合ニ稚木ヲ伐リタイト云フヤウナコトハ、今度ハ施業案ニ抑ハラレマス、左様ナ場合ニ對シテ、金融ト致シマシテ森林組合ガ貸付ヲスルト云フ途ヲ開キタイ、サウスレバ森林組合ト組合員トノ間ノコトデアリマスカラ、是ハ常時監督ガ出來、能ク事柄モ分ッテ居リマスカラ、サウ云フ所デ貸付ガ出來レバ、森林金融上カラ云ッテ一ツノ利便ヲ加ヘルト云フ意味

ニ於テ、第一ニ其ノ意味ニ於テ出資組合ヲ認メタ、又第二ノ問題トシテ、ドウシテモ其ノ人ガ賣リタイト云フヤウナ場合ニ、之ヲ他ノ人ニ賣ルトカ、或ハ都會ノ人ニ賣ルト云フヤウナコトヨリモ、一時森林組合ガソレヲ買受ケテ、サウシテ持ッテ居テ、サウシテ又ソレヲ元ノ人ニ賣戻スナリ或ハ他ノ組合員ニ賣ルト云フコトニスレバ、左様ナコトモ便利ダト、斯様ナ意味カラモ、茲ニ出資組合制度ヲ作ル必要ガアリハシナイカ、其ノ他金融業者等ガ抵當權ヲ實行シテ、擔保流レニナッタ山ヲ取ッタヤウナ場合ニハ、今迄ハソレヲ自分ガ實行スルト云フコトハ非常ニ困難ナコトデアリマスガ、斯ウ云フコトモ考ヘマシテ、サウ云フ場合ニ於テハ其ノ銀行ガ組合員ニナル譯デゴザイマスカラ、左様ナ場合ニハ委託ヲ受ケテ森林組合ガ經營スル、斯様ナ方面カラ、茲ニ森林組合ニ出資ノ制度ヲ認メレバ、從來カラ比ベテ森林金融上改善スル所ガ多カラウト思ヒマシテ、ソコニ出資制度ト云フモノヲ認メタ、尙從來ノ森林組合モ、或ハ貯木場ヲ經營シテ、其處デ森林組合員ノ生産シタ所ノ丸太ヲ委託販賣ヲスルト云フヤウナ事業ヲヤッテ居リマスノデ、從來ハ是等ノコトモ費用ノ負擔デ、所謂經費賦課デヤッテ居ッタヤ

ウナ事例モアリマス、是等ノコトハ、是ハ矢張り出資デヤツタ方ガ宜シイト思ヒマスノデ、是ハ出資組合ニ限り實行スルト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○山本米三君 只今ノ御説明デ略、分リマシテゴザイマスルガ、既ニ農村ニハ産業組合ト云フモノガ出來マシテ、更ニ山村ニモ此ノ産業組合ノ施設ガ行キ互ッテ居ルノデアリマス、此ノ上ニ更ニ此ノ資金ヲ出サセルト云フコトハ、ナカク、是ハ何モ強制ナサル譯デハゴザイマスマイガ、容易ナコトデナイト實ハ思ヒマス、ト共ニ此ノ資金ヲバ利用致シマシテ、加工トカ保管トカ販賣ト云フ風ナコトニ迄之ヲ進出サセルコトハ、又一面木材業者トノ摩擦ガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ナコトモ案ゼラレマスデゴザイマス、又是ガ一町村ヲ單位トシテヤリマスル場合ニ於キマシテハ、非常ニ失敗デモスルト云フコトニナルト、一村ノ破滅ヲ來スヤウナ重大ナコトニモ及バカト思フノデゴザイマス、此ノ點ニ於キマシテハ無論行政官廳ノ監督モアルコトト思ヒマスガ、何分モウ既ニ産業組合ガソレノ山村ニモ進出ヲ致シマシテ、目的ハ無論違ヒマセウガ、矢張り一ツ所ニサウ云フ團體ガ二ツ出來ルト云フコトハドウデアラウカ、斯

ウ云フ風ナコトニ付キマシテ御考ガゴザイ
マスレバ一ツ承リタイト思ヒマス

○政府委員(村上富士太郎君) 此ノ森林組
合ハ、御承知ノ通り森林所有者ガ集ル所ノ
組合デゴザイマシテ、組合員ニハ、例ヘバ
銀行業者デモ或ハ製紙會社デモ、ドウ云フ
資本ノ大キナモノデモ入り得ル所ノ組合デ
アリマス、其ノ代リ地元ニ居リマシテモ、
森林ヲ持ッテ居ナイ者ハ入レナイ組合デゴ
ザイマス、御承知ノ通り産業組合ハ其ノ村
ニ居住スル所ノ中小産者ノ心的結合デゴザ
イマシテ、此ノ森林組合ハソレニ反シマシ
テ、森林ヲ持ッテ居ル人ノ一ツノ物のノ要素
ガ加ル所ノ組合デ、其ノ組合ノ意義モ非常
ニ違ッテ居リマス、ソコデ從來ノ産業組合ニ
於テハ實行ガナカク出来マセヌノデ、産
業組合デ實行スル場合ニ於テハ、既ニ地區
外ノ居住者ト云フモノハ組合員ニハナレナ
イノデアリマス、サウスレバソコニ支障ヲ
來シマスノデ、ドウシテモハ森林組合デ
實行シナケレバナラヌカト思ヒマス、ソレ
カラ御承知ノ通りニ色々運搬、加工、保管、
販賣ト云フヤウナ仕事ハ、現ニ森林組合ハ
實行シテ居リマスコトデアリマシテ、ソレ
ヲ其ノ儘茲ニ認メタダデゴザイマス、ソ
レデ森林所有者ガ都會ニ店舗ヲ設ケテ木材

業ヲ營ムト云フコトハ、是ハ森林組合法ノ
營利ヲ目的トセザル法人トスルト云フヤウ
ナ意味カラ言ヒマシテモ、私ハサウ云フヤ
ウナ進出ハ不當ト考ヘテ居リマシテ、サウ
云フコトハヤラセタクナイ、唯委託販賣ト
云フヤウナ範圍ニ止メタイト考ヘテ居リマ
ス

○山本米三君 此ノ組合ノ組織ニ付キマシ
テ少シク御伺ヲ致シタイノデアリマス、無
論ニハ定款ニ依リマシテ、地區トカ名稱、
事務所、或ハ出資、又費用分擔方法ト云フ
モノハ定ル譯デゴザイマスルガ、公平ナル
費用ノ分擔ト致シマシテハ、矢張り山ノ値
ヲ茲ニ見出シマシテ分擔ヲサセル、或ハ又
組合員ノ權利トデモ申シマセウカ、權利化
スルト云フノニハ段別ヲ以テ決メル、斯ウ
云フ風ナコトハ定款ニ然ルベク規定シテ宜
イデアラウト思ヒマスガ、ナカク此ノ費
用分擔ノ方法ト云フモノハ、ナカク困難
ヲ感ズルノデアリマス、殊ニ又一町村ヲ
成シテ居リマスル大キナ範圍ニ互リマシテ
ハ、ナカク其ノ山林ノ評價ト云フモノヲ
バ見出スノニ相當ナ實ハ困難ガアルノデゴ
ザイマス、從來出来テ居リマス所ノ土功若
シクハ其ノ他ノ森林組合ニ於キマシテハ、
大抵先ヅ最初ノ分擔金ヲ以テ其ノ目的ヲ達

シマシテ、ソレ以後ハ殆ド費用ノ分擔ハナ
イノデス、漸ク一回ノ分擔金ヲ課スルダ
ケナノデゴザイマスガ、之ヲ處理スル上ニ
於キマシテハ非常ニ實ハ困難ナノデアリマ
ス、適當ニ第三者ガ其ノ評價ヲ決メマシタ
ト致シマシテモ、サウ法律命令ニ依ッテ是ヲ
バ徴收スル譯ニモ、組合ノコトデゴザイマス
カラ參リマセス、デ其ノ爲ニ不納ガ出来マ
シテ、大抵ハ先ヅ相當ナモノガ残りナガラ、
ソレガ其ノ儘ニナッテ居ルト云フノガ多イ
ヤウナコトニナッテ居リマス、デ之ヲ一町村
ヲ單位トシタ組合ヲ作ルト云フコトニナリ
マスルト、一層其ノ困難ガ多イデアラウ、尙
一回ニ止マリマセズシテ年々其ノ分擔ヲバ
サセル、尤モ是ハ地積ニデモ依リマスレバ
一番宜イノデゴザイマスケレドモ、ソレハ
畢竟方法ガ簡單ダト云フダケデアリマシテ、
決シテ分擔ノ公平ヲ得タモノデナイノデゴ
ザイマス、矢張り山林ノ評價ト云フモノニ
依ッテ之ヲバ分擔サセナケレバナラス、或ハ
又出資ノ組合ト致シマスレバ、收益ノ分
配モシナケレバナラス、サウシマスト年々
其ノ費用分擔若シクハ收益ノ分配ヲサセマ
ス所ノ基本タル數字ガ年々變ルノデゴザ
イマス、或山ハ伐採セラレ、或山ハ造林セ
ラレルト云フ風ナコトニ依ッテ、其ノ基礎

ガ動キヅメニナルト思ヒマシテ、茲ニ非常
ナ困難ヲ感ズルノデゴザイマス、サウスル
コトニ依リマシテ、此ノ市町村單位ノ組合
ハ、尤モ但書ガゴザイマシテ、或場合ニハ
ソレニ依ラズトモ宜イト云フコトニハ
ナッテ居リマスガ、先ヅ原則トシテ矢張り
町村單位、斯ウ云フコトニナッテ居リマス
ガ、是ハ施業案其ノモノヲ行ヒマス上ニ於
キマシテモ、一ツノ或ハ溪流ト申シマスカ
サウ云フ風ナコトヲバ考ヘマシテ、モウ少
シク小サイ區域ニ依ル方ガ適當デハナイ
カ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデゴザイマス、
此ノ邊ニ付キマシテノ御所見ヲ伺ヒタイト
思フノデアリマス

○政府委員(村上富士太郎君) 村單位ニ致
シマシタノハ、大體行政區劃ニ依リマス方
ガ斯ウ云フ組合トシテハ一番矢張り宜カラ
ウ、斯ウ云フ考カラ致シタノデアリマス、
勿論非常ニ面積ノ廣イ所ノ、例ヘバ奈良縣
ノ十津川村、上北山村ト云フヤウナ廣袤數
十里ニ亙ルト云フヤウナ所ニ於キマシテ
ハ、或ハ之ヲ一ツニ致スコトハ無理カト思
ヒマス、サウ云フ所ハ又流域單位ニ一ツノ
組合ヲ作ルト云フコトガ却テ實狀ニ適ス
ル、ソレガ特殊ノ事情ガアル場合ニハ、ト
云フ例外ヲ設ケタノデアリマス、ソレト反

對ニ二村ヲ合併シテ一ツニスルト云フコト
ガ必要ナ所モアラウト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 只今大臣ガ御見エニナ

リマシタヤウデゴザイマスカラ、此ノ機會
ニ御伺フ致シテ置キタイト存ジマス、木材
ノ需給及價格ノ調整ヲ圖リマシテ、森林生
産ノ發達ヲ圖リマス爲ニハ、森林特別會計
ヲバ設定スル必要ノアルト申シマスコト
ハ、最早議論ノ餘地ガナイト思ヒマス、早
速實行ニ移シテモ宜イ問題デハナカラウカ
ト思フノデアリマス、現ニ農林大臣モ亦衆
議院ノ本案特別委員會ニ於キマシテ、明カ
ニ其ノ必要ヲ御認ニナリ、一委員ノ質問ニ
對シテ、私自身ト致シマシテハ從來ノ議會
ノ情勢ニモ顧ミ、又實際將來ノコトヲ考ヘ
マシテ、特別會計ヲ設クルコトガ可ナリト
云フ信念ハ持ツテ居リマスガ、之ヲ實行ニ
移スニ付キマシテハ、移スダケノ考慮ヲ拂
ハナケレバナラスノデアリマシテ、今直チ
ニ之ニ對シテ明答ヲ致スコトハ出來ナイノ
デアリマス、ト御答辯ニ相成リ、又更ニ引
續イテノ質問ニ對シマシテ御答辯ニ相成リ
マシタ際ニハ、或ハ明年カラデモ實行スル
ヤウニナルカモ知レマセヌケレドモ、今此
ノ席デ此ノ問題ヲ、特別會計ニ移ス考ヲ持
ツテ居ルト云フコトヲ直チニ由上ゲルコト

ハ出來兼ネマス譯デアリマスト申サレテ居
リマス、デアリマスカラ、此ノ御答辯ニ依
リマシテモ、森林特別會計設定ノ必要ヲバ
既ニ御認ニナツテ居リマスノミナラズ、其
ノ設定ヲ可ナリトスト云フ御信念ヲモ御持
チニ相成ツテ居リ、且或ハ明年カラデモ實
行ニ移スカモ知レナイガ、此ノ席デハ今直
チニ特別會計ニ移スト云フ考ヲ持ツテ居
ルト言フコトハ出來ナイト迄仰セニナッ
テ居ルノデアリマス、之ニ依リマシテ、私
ハ大臣ガ森林特別會計ヲ設ケラル、ノ御意
思ノアルト云フコトヲバ確認致シマシテ、
窃カニ意ヲ強ウ致シテ居ル次第デアリマス、
唯其ノ實行ノ時期ニ付キマシテ、御明答ノ
ナカッタコトハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、
此ノ際本委員會ニ於キマシテモ、右特別會
計設定ノ御意思ノアル所ヲ、改メテ御明言
賜ルコトヲバ希望致シマスト共ニ、其ノ御
實行ノ時期ニ付キマシテ、若シ御腹案デモ
ゴザイマシタナラバ、大體何年度位カラ御
實施ニナル御考デアリマスカラバ御伺ヒ致
シタイノデアリマス、次ニ折角其ノ實行ノ
御意思ガアリナガラ、直チニ之ヲ實施出來
ナイト云フ迄ニ、何ガ左様ニ致サセマスノ
デアリマセウカ、單ナル大藏當局ニ對スル
問題ニ依ルモノデアリマセウカ、ソレトモ

又他ニ困難ナ事情ガアルノデゴザイマセウ
カ、率直ニ其ノ實情並ニ其ノ理由ニ付キマ
シテ、御説明ヲ伺フコトガ出來マシタナラ
バ誠ニ幸ト存ジマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ御質疑デ

アリマスガ、森林特別會計法ヲ設ケタイト
云フ意思ハ、農林當局トシテモ豫テ持チマシ
テ、之ニ對シテ相當ノ研究ヲ重ネテ居ル譯デ
アリマスケレドモ、御承知ノ通り特別會計ノ
設定ト云フコトハ、色々ナ事情ヲ考ヘテ、
其ノ上デナケレバ確定ガ出來ナイノデアリマ
シテ、只今御讀ミニナリマシタ如ク、私自
身ト致シマシテハ、是ハ一日モ速カニ特別
會計ヲ設定致シタイ、斯様ニ希望ハ致シテ居
リマスガ、マダ調査並ニ其ノ他ノ事ガスツカ
リ完了シテ居リマセヌノデ、之ヲ一日モ速
カニ總テノ調査ヲ終リマシテ、出來ル限リ
早イ機會ニ於テ御審議ヲ煩ハスコトニシタ
イト考ヘテ居ル譯デアリマス、考トシテハ
ドウシテモ特別會計ニ致スベキモノダ、斯
ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、折角研究
致シテ居ル譯デアリマス

ノアル所ヲバ確カメ得マシタノデ、此ノ際
ハ之ヲ以テ満足ヲ致シマス、尙將來可及的
速カニ御實施ニ相成ラムコトヲ希望スル次
第デゴザイマス

○山本米三君 關聯シマシテ、御差支ゴザ

イマセヌ時間ヲ御與ヘ願ヒマス、只今梅園
委員ヨリ大臣ニ御質問ニナリマシタノハ、
森林特別會計ト承ツタノデゴザイマスガ、
定メテ是ハ此ノ法案ノ施行ト共ニ、當然起ッ
テ來マス金融問題ニ對シマスル特殊ナ、強
力ナ金融機關ト云フ意味ノモノデアラウカ
ト思フノデアリマスガ、是ハ何ト致シマシ
テモ、是非御考慮ヲ煩ハシマセスト、此ノ
法案ノ施行ガ空文ニ歸スルモノト實ハ考ヘ
ラレルノデアリマス、是非共御考慮ヲ煩ハ
シタイ、一面ニ施業案ニ依ッテ小林業家ハ
其ノ伐採ヲ停止サレル、斯ウ云フ風ニナリ
マス以上、是ハ必ズ金融ノ途ヲ開イテ戴キ
マセヌト……、無論只今勸業銀行ナリ農工
銀行ナリ、特殊ナ不動産ニ關スル銀行ハゴ
ザイマスルガ、過日モ此ノ參考資料ヲ頂戴
致シマシテ考ヘマスルト、相當矢張り高イ
ノデアリマス、斯様ナ高利ニ依ッテ林業者
ハ到底堪ヘラレヌノデゴザイマス、又期間
等ニ於キマシテモ、相當長イ期間間ヲ與ヘ
ラレナケレバナラスノデゴザイマスルカ

ラ、此ノ法案ヲ實行スル上ニ於キマシテハ、是非トモ是ハ御考ヲ願ヒマセスト此ノ法案ガ活キテ來スノデゴザイマス、特ニ是ハ更ニ一ツ御考慮ヲ煩シタイト思ヒマス、尙之ヲモウ一ツ御答辯ヲ煩シタウゴザイマスノハ、大體此ノ造林ノ非常ニ遅レテ居リ、又伐リ跡ガドウシテモ植エ付ケラレナイト云フコトハ、木材ノ市價ノ安定ヲ缺イテ居ル、非常ニ木材ガ暴落シ、或ハ又暴騰スル、斯ウ云フ風ナ上ニ於キマシテ、林業家トシテハ非常ナ不安ガアルノデゴザイマス、デ之ヲ安定セサルト云フコトガ一ツノ必要ナコトデアリマスシ、又造林ヲ獎勵スルト云フコトモ、是モ必要デゴザイマセウガ、先以テ此ノ市價ノ安定ト云フコトガ非常ニ必要ノコトデアラウト思フノデアリマス、茲ニ於テ私共盛ニ是迄必要ヲ叫ンデ居リマスノハ、國有林ノ特別會計……特別會計ヲ敢テ望ムノデハゴザイマセスガ、此ノ特別會計ニスルコトニ依ッテ市價ノ安定ヲ得ルデモアラウカ、斯ウ云フ風ニ實ハ思フノデゴザイマス、大體此ノ國有林ト民有林ノ割合ヲ考ヘマスルト、國有林ガ四割一分、斯ウ見マスレバ、民有林ハ五割八分、斯ウ云フ風ナコトニ割合ガナッテ居ルノデゴザイマス、處デ此ノ國有林ガ一般會計デアリマスルガ

爲ニ、大藏省ニ於キマシテ其ノ收入ヲ金額デ決メラレテ居リマス、サウシマスルト木材ガ騰リマシタ折ニハ、餘リ多量ノ伐採ヲ要セヌコトニナルノデゴザイマス、又價格ノ安イ場合ニハ相當伐ラナイト其ノ豫算ガ保テナイ、斯ウ云フ風ナ、價格ヲ以テ押ヘラレテ居リマスル關係上、市價安定ト云フコトニ逆行スルノデアリマス、木材ノ安イ折ハ國有林ハ市價ノ調整ヲ保ツニハ少ク伐ッテ貰フ、斯ウ云フコトニナレバ稍之ニ依ッテ安定ニ資スルコトガ出來ルノデアリマス、又木材ガ騰リマスレバ、ソコデ少シク餘計伐ッテ戴クト云フコトニ依ッテ其ノ不足ヲ補ッテ、需給ノ關係上市價ガ其處デ少シク又下ル、斯ウ云フ風ナコトニナルニモ拘ラズ、今日迄ノ國有林ノ扱ハ、大藏省デ一般會計ト致シマシテ金額ヲ以テ押ヘラレテ居ル、斯ウ云フ風ニナルモノデスカラシテ、其ノ分量ガ逆ニ動クノデス、詰リ重壓ヲ受ケマシテ、民間ノ林業ガ非常ナドウモ困難ヲ來ス、斯ウ云フコトノ爲ニ國有林ヲドウカ特別會計ニシテ戴ケバ、斯ウ云フ風ナコトガ生ゼヌデアラウト云フコトガ、民間ニ盛ニ實ハ聲ガ高イノデゴザイマスルガ、是ハ無論御所管ガ違フノデゴザイマスケレドモ、農林省ニ於カレマシテモ此ノ意思ヲ

以テ一ツ、大藏省ノ方ヘ是非御交渉ニ預カルト云フ風ナコトガ必要デアラウカト思フノデアリマス、此ノ金融問題ノ特殊ノ金融機關ト云フモノト、此ノ國有林ノ特別會計ト云フモノノ二點ニ於キマシテ、今一應ノドウカ大臣ノ御所見ヲ拜承致シタイノデゴザイマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 山本委員ノ御質疑ハ第一點ハ、森林特別會計ノ問題デアリマシテ、既ニ梅園委員ニ御答ヘシタ通りデアリマス、第二點ノ森林金融ノ問題ニ付キマシテハ、從來カラ森林業者ガ最モ不幸ナ地位ニ立ッテ居ルノデアリマシテ、此ノ金融ノ途ハ有ラユル他ノ者ニ比シテ一番難澁ヲ致シテ居ルノデアリマス、故ニ衆議院ニ於キマシテモ森林銀行其ノ他ノ設立等ノ議論モアリマシテ、時ニ建議トナリ決議トナッタコトモアリマスガ、今日尙實現ヲ見ルニ至ッテ居リマセヌ、今現在ニ於ケル所ノ森林ノ金融狀態ヲ見マス、大體ニ於テ三分ノ一弱ガ個人ノ金融ニ屬シテ居リマス、サウシテ又三分ノ一強ガ普通貯蓄銀行デア、七分ノ一強ガ勸業銀行ガ金融シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、併シ是ハ森林擔保ダケデアリマシテ、森林業者ノ最モ必要トスル木材等ニ對シマスル所ノ金融ノ途

ハマダ十分デアリマセヌ、ソコデ、從ヒマシテ此ノ點ニ付キマシテハ、ドウシテモ此ノ金融ノ圓滑ヲ期スルコトヲ考ヘナケレバナリマセヌガ、何分ニモ事業ガ事業デアリマスカラ、從來ハ之ヲ擔保ニ取リマシテモ、擔保流レニナッタ時ニ處分スルノニ困ルト云フヤウナ事柄ガ往々アッタノデアリマス、勿論大キナ森林ハ自分デ經營スレバ宜シイノデアリマスケレドモ、小サナ森林ナドハ擔保ニ取ッテモ處分ノ仕方モナケレバ、經營スル方法モナイト云フヤウナ狀態ニアルノデアリマスカラ、今回施業案ガ出來マシテ、其ノ持チ分ガ擔保ニナルトシマスレバ、其ノ組合ニ於テソレヲ保護シテ呉レルノデアリマスカラ、此處ニ金ヲ貸シテ呉レル人モ或程度ノ安心ガ出來ル、殊ニ森林保險ノ制度モ設ケラレタノデアリマスカラ、金融業者トシテモ相當金融ノ途ヲ開イテ呉レテモ宜シイノデアリマスケレドモ、何分從來ノ因襲ニ依ッテ、金融ノ途ガ開ケテ居ナイコトハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、從ヒマシテ此ノ施業案實施ト共ニ、何等カノ方法ニ依ッテ銀行ニ森林金融ニ對シテ特別ナ取扱ヲスルヤウニ、若シクハ便利ヲ圖ルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、今直チニドウ云フ方法ニ依ッテ、

金融ノ途ヲドウスルト云フコトハ申上ゲ兼
ネマスケレドモ、此ノ次ノ議會ニ臨ミマス
迄ニハ、適當ナル方法ヲ講ジテ、サウシテ
森林業者諸君ノ御困リニナツテ居ル點ヲ幾
分デモ緩和シタイ、斯様ニ心得テ居ル次第
デアリマス

○山本米三君 國有林ノ特別會計ニ付テノ
御答辯ハナイノデアリマスカ

○國務大臣(櫻内幸雄君) 先刻梅園子爵ニ

申上ゲマシタ通り森林特別會計ヲ設ケタイ、
森林特別會計ハ即チ國有林ノ特別會計デア
リマス、國有林ガ特別會計ニナツテ居ル場合
ト今日ノ場合トデハ、御話ノ如ク本年ハ何
千萬圓森林ノ收入ヲ擧ゲルヤウニシテ貰ヒ
タイ、斯ウ云フヤウナ場合ガアルト、時ニ

木材ヲドソノ伐リ出シテ安クナルト云
フ憂ガアルト云フ御話ガアリマシタガ、左
様ナコトハ成ルベク避ケル方針デ居リマス
ケレドモ、往々ニシテ從來アツカノ如ク聞

イテ居リマスノデ、旁、此ノ特別會計ヲ設ケ
テ、サウシテ之ニ對スル一定ノ方針ヲ樹立
シテ進行致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○山本米三君 只今非常ニ御詳細ナ御答辯

ニ預カリマシタノデアリマスガ、農林省ト
致シマシテ、此ノ案ヲ御出シニナルノニ、
ドウモ併行シタ所ノ金融問題ガ、一應考ヘ

テ見ル、尙次期ノ議會迄ニ考ヘテ見ルト云
フコトデハ、此ノ案ノ前途、實行ノ上ニ於
キマシテ、甚ダ暗影ヲ投ズルモノト遺憾ニ
思フノデゴザイマス、大藏當局ト致シマシ
テモ、前日之ヲ伺ヒマスノニ、餘程御考慮
ハ下サレテ居ルヤウニ祕カニ考ヘルノデハ
アリマスルガ、第一此ノ案ヲ御提出ニナツタ
農林省ト致シマシテ、モウ少シ進ンダ御考
慮ニ達シマセズシテ此ノ案ヲ御出シニナツタ
ト云フコトハ、甚ダ私ハ遺憾ニ思フノデア
リマスルガ、敢テ是以上私ハ答辯ハ求メマ
セスガ、實行ニ付キマシテ當局ニ御困リニ
ナル事ガ出來ハシマスマイカト、非常ニ案
ズルノデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ御意見デ
アリマスガ、此ノ施業案ガ出來マスと云フ
ト、金融上非常ニ、我々ノ見ル所ニ依ルト、
便利ニナルト思フノデアリマス、同時ニ此
ノ施業案ハ能ク御承知ノ如ク、サウ簡單ニ

出來ルモノデハアリマセズデ、相當ノ期日
モ要シマスノデ、此ノ間ニ於ケル金融ノ途
ヲ速カニ付ケルト云フコトニ付キマシテ
ハ、或ハ勸業銀行ノ手ヲ經ルトカ、或ハ其
ノ他ノ手ヲ經テ、特ニ金融助成ノ途ヲ講ズ

ルコトガ出來ヌコトハナイノデアリマシ
テ、此ノ點ニ付キマシテハ、當局ニ於テモ

出來得ル限り金融ノ圓滑ニ行クヤウニ盡力
シタイト思ツテ居リマスケレドモ、ソレニ
對シテ具體的案ヲ具シテ、斯ウ云フ風ナ金
融機構ニ依ツテ之ガ金融ノ完璧ヲ期スルト
云フコトニ付キマシテハ、マダ施業案ト云
フモノガ五ツヤ十出來テ見マシタ處デ、ソ
レニ依ツテ是ト相併行シテ行ク譯ニハ行カ
ヌノデアリマシテ、初年度ニ約三百組合位

出來ルヤウニ豫定シテ居リマスノデ、次年
度ニナリマスと云フト、自ラ之ガ體系ヲ整
ヘルコトト思ヒマスノデ、サウナリマスと
云フト、一層茲ニ金融ノ途ヲ圖ル具體的案
ヲ立テルニ立テ易イト、斯様ニ考ヘテ居ル

ノデアリマス、差當リノコトニ付キマシテ
ハ、從來ト變リハナイノデアリマスケレド
モ、施業案ノ施業ト相俟ツテ出來得ル限り
其ノ途ヲ開キタイト、斯ウ考ヘテ居ルヤウ

ナ次第デアリマス
○山本米三君 只今御説明ヲ承リマシテ稍、
安心ヲシタノデゴザイマスルガ、御説明ニ
依リマスルト、マダ是ハ法案ハ施行シテモ、
初年度ニ先ヅ三百組位、次年度ニ稍、體裁ヲ

整ヘル、ソコデ一ツ金融ノ方モ整ヘルト、
斯ウ云フ風ナドウモ御意見ノヤウニ拜承致
シマシテゴザイマス、折角ドウカ此ノ案ノ
施行ニ支障ノ無イヤウニ、十分御考慮ヲ私

ハ煩ハシタイト思ヒマスノデゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 本特別委員會ニ於キマ
シテ前回以來問題トナツテ居リマシテ、現
ニ今朝大藏政務次官トモ質問應答ヲ見タノ
デアリマスルガ、森林相續稅ノ物納ノ問題

ニ付キマシテ、幸ヒ農林大臣ガ御臨席ニナッ
テ居リマスノデ、其ノ御所見ヲ伺ヒタイ
ノデアリマス、即チ近ク政府ニ於キマシテ

一般稅制整理ノ場合、森林關係ノ稅制整理
ヲ致サレマスル際ニ於キマシテ、森林相續
稅ノ場合ニ於テ特例ヲ設ケテ、特定ノ條件
ニ適ヒマシタモノノミニ對シマシテ、特ニ

物納ノ途ヲ開クト云フ御考ハ、農林大臣ニ
於テ御持チニナツテ居ラナイノデゴザイマ
セウカ、如何デゴザイマセウカ、御伺ヒ致
シタイト思ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 此ノ問題ハ主ト
シテ大藏省ニ關係スル問題デアリマシテ、
私ガ責任ヲ負ウテ御答辯申上ゲルト云フコ
トハ如何カト思ヒマスガ、森林ノ如キ財產

ヲ相續サレタ方ハ、直グ金ニシテ御納メニ
ナルト云フコトハ、私ハ隨分困難デアラウ
ト思フノデアリマス、又品物ヲ賣ルト云ヒ
マシテモ容易ニ賣レルモノデモアリマセヌ
シ、旁、物納ニシテ品物デ納メルト云フ事柄
ハ、是ハ若シ便宜ナル方法トシテ取扱フ方

法ガアレバ、ソレハ致シテ宜シト思フノ
デアリマスガ、此ノ點ハ大藏省ト能ク協議
シテ見マセスト云フト、何トモ申上ゲ兼ネ
マスケレドモ、事情ハ今私ノ考ヘテ居リマ

スル處、即チ農林當局ニ於テモ是ハ考ヘテ
居ルノデゴザイマスガ、餘程困難ナ事情ニ
在ルト思ヒマスノデ、之ニ對シマシテ特例
ヲ設ケルトカ、或ハ特別ナ取扱ラスルトカ、

斯ウ云フ事柄ニ付キマシテハ、是ハ篤ト大
藏當局ト協議シテ見マシテ、場合ニ依リマ
シテハ適當ノ機會ニ申上ゲタイト思ヒマス

ガ、併シナガラ此ノ森林關係ノ人々ガ非常
ニ此ノ關係ニ對シテ御困難デアル、又政府
トシテ之ニ對スル適當ナ對策ヲ講ズベキモ

ノダト云フトダケニ付キマシテハ、私申
上ゲテ宜シト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 只今農林大臣カラ縷々
御深切ナル御所見ヲバ承リマシテ、満足ヲ
致シテ居リマス、就キマシテハ、近キ將來

ニ於キマシテ、大藏當局ト御折衝ノ上、何
トカサウ云フ途ガ開ケマスルヤウニ、特ニ
御配慮ノ程ヲバ希望致シテ置キマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今ノ御希望ニ
付キマシテハ、十分私ノ方デモ調査ヲ致シ
マシテ、御迷惑ニナラヌヤウナ方法ガアル

カナイカ、又斯ウ云フ風ナ方法ヲ執ツタラ宜

イデハナイカ、斯ウ云フヤウナ事柄ニ付キ
マシテ、十分ニ研究ヲ致シマシテ、其ノ研
究シタ結果ヲ齎シマシテ、大藏當局ト十分
折衝致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 皆サンドウ
デセウカ、本日ハ此ノ程度ニ於テ止メマシ
テハ……

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ次
回ハ彙報ヲ以テ申上ゲマスカラ、左様御了
承願ヒマス、是ニテ散會致シマス

午後三時二十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵川村鐵太郎君

副委員長 男爵三須 精一君

委員

公爵一條 實孝君

侯爵佐竹 義春君

子爵伊集院兼知君

子爵鍋島 直繩君

子爵梅園 篤彦君

木場 貞長君

男爵小畑大太郎君

松本 學君

宇野 勇作君

小林嘉平治君

山本 米三君
絲原武太郎君

國務大臣 農林大臣 櫻内 幸雄君

政府委員 大藏政務次官 松村 光三君
農林省山林局長 村上富士太郎君